





設案ニアルナラバ、私ハ進ンデ賛成スルノデアリマス、政府ハ從來計畫セラレタル所ノ十年計畫ニ於テ、未成線ノ完成近キニ在ルガ爲ニ、此鐵道ノ速成ヲ爲サントシテ茲ニ提案サレタト、斯ワ言ハレバ、ルノデアリマスケレドモ、本員ノ實際見ル所ニ依レバ、一昨年計畫セラレタル所ノ十年計畫ニ於テ、未成線ハ政府ノ思テ居ラル、ヤウニ、又主張セラル、ヤウニ進捗シテハ居ラナイ、漸ク今回測量ヲシテ居ルヤウナ處モアレバ、其工事ト云フモノハ遅々トシテ進マヌ、即チ一年テ三百六十哩位宛進ムナルバ宜イカ、此鐵道ハ或ハ其半分、若クハ七分位シカ進マニヤウナ譯デアリマス、隨テ此十年計畫モ、恐ラクハ十五年位掛リハシナイカト思ハレルノデアリマス、若シ之ヲ政府ダ著々進メルトシテモ、是ハ容易ナ事ナイト思ヒマス、十年ヲ以テ完成スルト云フコトハ、私共ハ如何ニモ懸念ヲ持ツ者アリマス、更ニ政府ハ速成ヲ期サント欲スルト言ハレマスケレドモ、豫算ガ少シモ伴ハズシテ而モ此豫算ハ時ノ財政ノ許ス限りニ於テト云フ、空漠ナル文句ニ外ナラヌノデアリマス、シマスガ、財政狀態ハ現ニ行詰シテ居ルノデアル、サウ云フ場所時出スノカ、五十年後ニ出スカ、百年後ニ此豫算ヲ提出スルノデアルカ分ラナイノデアル、尙ホ本員ノ考ヘル所アハ、昨日モ縷々申上ダマシタカラ、此處デ申上ダルコトハ暫ク略シマスガ、財政狀態ハ現ニ行詰シテ居ルノデアル、サウ云フ場合合ニ於キマシテ、速ニ此鐵道ノ敷設ヲ爲サント欲スルト稱スルモ、ソレハ名バカリニアリテ、是等ニ向シテ鐵道ノ豫算ト云フモノハ少シモ伴ヘテ居ナイ、況ヤ前申ス通り十年計畫デアル、未成線ハ今後尙ホ十餘年モ經過シナケレバナラナイト云フノニモ拘ラズ、一昨年改正案ガ提出セラル時分ニ於テハ、斯ノ如キ事ハ夢ニモ無カッタノニ——或ハ政府ハ有シタ仰セラル、アルカ、若モ今日茲ニ御提案セラル、ナラバ、私ノ考ヘルニニ、未だ此豫定線ナルモノハ——鐵道法ナルモノハ、全國幾多調査ノ上ニ、即チ茲ニ追加シナケレバナラヌト云フコトハ、政府モ認メテ居ラレテアルデアラウシ、又吾モサウ認メテ居ル、アルカ、若モ今日茲ニ御提案セラル、ナラバ、私ノ考ヘルニニ、中々此豫定線ナルモノハ——鐵道法ナルモノハ、全國幾多餘リ御訂正ノナイヤウニ、改正シナインデ済ムヤウニ、御提出ニナシテモ差支アルマニ、何故ニ斯ノ如キ國家ノ義務ヲモ直ニ政府ガ、即チ内閣ノ運命ヲ賭シテマニモ、此問題ヲ急イデデ可決シナケレバナラナイト云フ其趣意ハ何所ニアルカ、甚スレバ、法律トシテ認メルコトノ出來ナイ、憲法ニモ違反スルデナハイカト云フ所ノ此敷設法案ヲ急イデ開會スルヤ否ヤダ疑ナキ能ハズト存ズルノデアリマス、然ルニ政府ノ御答辯

ハ、未成線完成尙ホ近キニ在リ、而モ帝國鐵道完成ヲ急ダ  
上ニ於テ、提案シタト言フケレドモ、何ヲ急グノデアルカ、争  
ダト云フ形式ハ少シモ備ツテ居ナイ、之ニ對スル豫算モ備ツ  
居ナイ、唯ダ吾ニ斯ウ云フ計畫ヲ持ツテ居ルノデアルト云コ  
ニ過ギナイトモノデ、或人ヲ以テ評サシムレバ、此内閣デハ架ヲ  
ルコトハ出來ナクテモ、内閣ハ退イタ後ニ於テ、吾ニハ斯ウ云  
フ計畫ヲシタコトモアルト言ウテ、御茶ヲ濁ス位ニ過ギナイト  
私ハサウハ信ジマセヌガ、サウ評スル者スラアリマス、サウ云云  
譯ニアリマスカラ、斯ノ如キ所謂法律トシテ、眞ニ値打ノ無  
イヤウナモノ出スナラバ、尙ホ一步進メテ完全無缺ナモ  
トシテ、御提案サレタ方カ宜イノデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘ  
ノデアリマス、重ネテ茲ニ御尋致シマス  
○元田國務大臣 私ハ鶴澤君ノ御尋ニハ答辯シテ居  
ト思ヒマス、十分ナ調査ヲシテ居ラスト言ハレマスグ、是  
甚ダ痛入タ御言葉デアリマシテ、私ハ十分ナ調査ヲシテ  
イモノヲ出シテハ居リマセヌ今日ニ於キマシテ茲ニ出シテ居  
ル所ノ鐵道網ハ、完全ナモノト信ジテ居ルノデアリマス、鶴澤  
君ハサウハ思ハスト言ハレマスガ、是ハ人ノ頭ヲ變ヘルコトハ  
出來ナイガ、當局ニ於テハ完全ナリト信ジテ居ルノデアリマス  
ソレカラ是ハ先ノ法案ニ關係ガゴザイマスカラ、尙ホ詳シ  
事ハ後デ中シマスガ、先ノ法律ニハ財源タル公債ノ云々を規定  
ゴザイマスガ、是ハ大正七年法律第十二號ニ依テ削除せ  
レタニ拘ラズ、他ノ條項ハ法律トシテ現存シテ居ルノデアリ  
マス、今回此法案ヲ提出致タスコトニ付テハ、法案ノ内容ニ  
就テ御意見が違ハバ多少ノ修正ヲ爲サルト云ノハ、議員  
ノ權能ニアリマスガ免ニ角第二ノ計畫トシテ、此鐵道建設  
ノ計畫ヲ立て、御協賛ヲ仰グコトニ至タノハ、其意ヲ得タ  
リト云フ御言葉コン承ルコト、存ジタノデアリマス、之ヲ  
サズシテ、其時々ノ政府ノ隨意ニ任シテ五本七本ヅ、豫算  
形式ニ依テ出スト云フコトハ、本則ハ法律ニ依テ出スコト  
ニナッテ居ルモノヲ、潛タ遣方デ、斯ル變則ノ先例ヲ繼續ス  
ルノハイなスト云フノガ、是ハ正論ト思ヒマス、内容ニ就テハ  
鐵道當局ニ於テ作リタルノヲ、皆様ニ於キマシテハ或ハ此  
線路ハ不急デアルトカ、是ハ宣シイトカ云フヤウナ御意見ハ  
ニナッテ居ルモノヲ、潛タ遣方デ、斯ル變則ノ先例ヲ繼續ス  
ルノハイなスト云フノガ、是ハ正論ト思ヒマス、内容ニ就テハ  
會ガ之ヲ協賛シ來タト云フナラバ、其責任ハ議會モ分タナ  
ケレバナラヌ、要スルニ以前ノ法律ハ終了ニ近ヅイテ居ルカ  
ト、之ヲ迎テ攻撃ヲナサルナレバ、以前カラ協賛セナカタガ  
ラ、計畫ヲ立て、御協賛ヲ受ケルコトニナリマシタノデ、之ニ  
宜カラウト思フ、時ノ政府が法案ヲ提出シタモノニ付テ、議

對シ修正ヲ提出サレルナラバ、承リマスガ、當局ニ於テハ本  
案ヲ完全ナリト思テ居リマス、左様ナ次第アリマスカラ、  
本案提出ノ趣意ニ至ラテハ、洵ニ明瞭ニ御諒解下サッテ居  
ラナケレバナラヌト思ヒマス、唯ダ調査不完全デアルト云ク  
御說ニ至ラテ當局ハ甚ダ遺憾ニ存ジマス、既ニ御讀下サッタ  
コトニアリマセウガ、十數年間ノ調査ヲ致シマシテ、脈絡其  
他運輸上總テノ要點ニ、周到ナル考慮ヲ費シマシテ、茲ニ鐵  
道網ヲ提出致シマシテ、一日坐上ニ出來ル事デアリマセヌ、  
出來ル人モアルカモ知レマセウガ、鐵道省多數ノ技術家専  
門家ヲ集メテ居リマスケレドモ、左様ナ容易ナコトニアリ  
マセズ、而シテ此線路ニ付テドウ云フ關係ガアルクト云ヘバ  
御尋ニ依シテ逐一提出致シマシタ趣意ハ述ヘマスガ、併シ其  
以前ニ説明書ヲ出しシテアリマスクラ、孰讀下サイマシタナラ  
バ、成程一朝一夕ノ坐上ニ拵ヘタモノデナイト云フコトハ御  
了承ニナルト存ジマス、ソレニモ拘ラズ、尙ホ不完全ナリト  
云フ思召ガアルナラバ、是ハ御意見ノ相違デアリマス、一々  
答辯スル限りデナイト私ハ思ヒマス

○石丸政府委員 御答致シマス、唯今小港鐵道ノ御話ハ、御承知ノ如ク政府ノ鐵道ト致シマシテ、既ニ敷設スルコトニ定テ、仕事ニ著手シテ居ルノアリマス、ソレ故ニ小港ニ若シ參詣者ガ參ルト云フコトニアリマスレバ、今ノ政府ノ鐵道ガ出來上リマスレバ、ソレガ出來ルノアリマス、ソレハ房州線ノ縱貫線ノ一部ニ當ツテ居リマス、縱貫デハゴザイマセヌ、沿岸循環線ノ一部ニ當ツテ居ルノアリマス、而シテ何時出來ルカト云フ御尋アレバ、大正十五年ニハ出來上ル見込デアリマス、唯今鶴澤君ノ御話ニナリマシタノハ、之ヲ私設ノ問題ト私ハ聽取リマシタガ、ンレニ付テ一ツ御答シテ置キマス、此施設ニ競願者ガアリマスノデ、ソレ故ニソレヲ充分ニ鐵道省デ調査致シマシテ、而シテドレガ一番宜イカト云フコトヲ、十分調査ヲ進メタノアリマス、然ルニ當初ノ出願者が、經濟界ノ浮沈ニ依リマシテ色々ニ設計ヲ變更致シタリ、ハソレニ應ズルコトニ致シタインデアリマスルガ、最初ノ御話ニ付テ、政府ノ考ヘテ居リマスル事ト違ヒマシテ、唯今ノ所レヌカ、斯ウモシテ吳レヌカト云フコトニアリマシテ、出來ルダケデハ最初ノ出願者ニ於テハ、ソレハ出來ナイト云フコトデ、見限シテ居タヤウニ私ハ心得テ居リマス、然ルニ其競願者タル所ノ者ハドウカト申シマスルト、是モ亦決シテ居リマセヌ、アル總路ハ其線路デアル、ソレ故ニ若シ民間デ架ケナイト云フコトニアリマスレバ、無論政府ハ架ケル積リデアル、併居リマス、併シ其線路ノ方向及位置ニ於キマシテハ、吾々ガナグラ、昨年モ鶴澤君カラノ御話ニ依リマシテ私ハ申上げ豫テ線路ノ一例トシテ考ヘテ居リマスル、御手許ニ差上テテ置キマシタガ、政府ノ力ノミニ於テハ、日本ノ鐵道ノ線路ニ於テ十分ニ調査シタ上、何時デモ民間ニ於テ之ヲ望ム者カアレバ、網ハ速ニ出來ヌカラ、若シ民間ニ於テ之ヲヤラセルト云フ考ヲ持テ居ルノアリマス、序ニ遡テ前ノ御質問ノ中デ許可シタインデアルト云フコトヲ申上ゲテアルカラ、政府ハ此方針デヤル積リデアル、而シテ政府ノ意見ト同ジ意思ヲ以テヤル者ガアレバ、何時デモ進ンデヤル、大概許サレル範囲ニ於テ十分ニ調査シタ上、何時デモ民間ニ於テ之ヲヤラセルト云フ考ヲ持テ居ルノアリマス、序ニ遡テ前ノ御質問ノ中デ大臣カラ御答シマシテ、外ノ事ハ盡キテ居リマスルガ、其御質問ノ中ニ遺憾ノ點ガゴザイマシタカラ、一寸御答ヲ致シマス、此建設事業ガ非常ニ遲々トシテ進マナイト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、是ハ甚ダ迷惑ヲ致シマス、茲ニ結果ヲ申シ上ゲマスレバ、之ガ何ヨリノ證據デ、大正十年度ニ於キマシテハ、二百四十四哩進ンデ居リマス、ソレカラ大正十一年度ニ於キマシテハ、二百三十六哩出來ル積リデアリマス、然ル

ニ丁度鵜澤君が仰セノ如ク、私ハ三百六十五哩ノ平均ヲ以テ進メタイト云フ覺悟ヲ持テ居ル然ルニ今迄ノ二百四十四哩ノ線路ヲ、ドンナ有様ニ於テ敷設スルカト申シマスルト、丁度線路ノ仕事ヲシテ居リマスル數カラ申シマスル十箇所乃至百箇所仕事ヲシテ居ルノデアリマス、全國中ニ於テ昨日申上ダマシタ通り、五十万人ノ失業者ヲ救ツテ居レカラ十二年度ニ於テハ八線路、十三年度ニ於テハ六線路、十四年度ニ於テハ五線路、十五年度ニ於テハ九線路、十六年度ニ於テハ七線路、斯ウ云フヤウナ工合ニ致シマシテ、大概此豫定ニ付テ進シテ居ルノデゴザイマス、唯ダ此建設費ナルモノガ、又少シ吾々ガ思フダケノモノガ出來マスレバ、四百哩乃至五百哩造ルコトハ何デモナイ、如何セン御承知ノ如ク此費用ハサウ行キマセヌモノデスカラ、唯今ハ貴衆兩院ノ協賛ヲ經マシタ豫算ノ範圍ニ於テ、出來ルダケノ事ヲシテ進メテ居ルノデゴザイマス、冀クハ三百六十哩即チ一日ニ一哩宛開業シタイ、斯ウ云フ私ハ計畫ヲ持テ居ルノデゴザイマス、之ニ達シテ參リマスレバ——此能ク皆様ガ十年計畫ト申シマスルガ、是ハ決シテ十年計畫ト云フモノデハナイ、是ハ政府委員ガ貴族院デ申上ダ所デアルガ、十年計畫モ何デモナイ、出來ルダケ早ク出來ルヤウニシナケレバナラヌカラ、先づ十八年ト云フモノヲ土臺ニシテ申シテ居ルノデスカ、本當ノ十年計畫デハナイ、早ク出來マスレバ繰上ダテヤリマス、昨年モ鵜澤君ノ御話ニ對シ懇々申上ダテ、充分ナ御諒解ヲ得タコト、思ツテ居リマス、然ルニ本年再ビ之ヲ繰返サナケレバナラヌト云フコトハ、洵ニ遺憾ニ存ジマス、尙又此敷設法ニ付キマシテハ、此建設線トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマス、敷設法ノ改正案ナルモノハ、附屬ノ鐵道政策——國策ト致シマシテ、國民ニ斯ウシテヤルノダト云フコトヲ能ク市シタイト云フノガ、之ガ私ハ目的トシテ居ル所デ、此中カラ年々新線ヲ選り出シマシテ、サウシテ議會ノ協賛ヲ經テヤルト云フノデアル、ケレドモ既ニ原案ガ滞テ居リマスガ爲ニ、三年乃至四年ノ遲レヲ取テ居ルノアリマス、私ハ洵ニ遺憾ニ存ズル次第デアル、是ハ又金ガナイカラ云タト仰セラレマスガ、昨日モ申上ダマシタ通リニ、過去ノ三十年ニ於テ、丁度一万二千哩ノ鐵道ヲ日本内地ニ於テ持シテ居ルト云フコトハ、即チ二十五年ノ當時ニ於テ、僅ニ國ノ力ガ七千九百万圓デ億ノ力ヲ持ツテ居リマスル時ニ於テ、此六千三百哩ヲ考ヘルコトハ、私ハ飛シデモナイ事ト考ヘル、是ハ昨年來鵜澤君ニ立テ居リマシタ時ニ考ヘタ事ト思ヒマスルガ、今日ノ十五

於カレマシテモ、私等ガ十分ニ説明ニ努メマシタ結果、御諒解下サイマシテ確カ御贅成ナサダ案ト考ヘテ居リマス、其案ト違ツテ居リマセヌ、今年モ宜シク……  
○鶴澤委員 今石丸次官ヨリ、私ノ此前ノ質問ニ對スル追補ノ御答辯ガアリマシタガ、石丸サンハ今年ノ工事ノ進捲ノコトヲ御吹聽遊バシテ居ルガ、昨年ハ何ト申シマシタカ御記憶アルダラウト思ヒマス、物價ガ騰貴致シマシテ、請負者ガ豫定ノ進行ヲ爲スコト能ハズシテ、爲ニ思ハズ知ラズ工事ハ延ビタ、而モ各所ノ難工事ガアルガ爲ニ、豫定ノ工事が進マナカッタ云フコトハ遺憾アルト云フコトヲ、再三御答辯ニナツテ居ラレルコトハ、石丸サン恐ラクハ御忘レハナカラウト思ヒマス、本年ハ大臣ノ答辯ヲ請ヒマシテカラ後ニ於テ、石丸君三御質問申上ケタイコトハ私ハ數日間アリマスル考デアリマス、其場合ニ於テ爲ト是等ノ工事ノ進捲ノ程度等モ承ル積リデアルガ、今聽キマスルト云フト、大層工事ノ度合ノ進ミマシタヤウナ御話アリマスルガ、私ハ未ダ本年ノ進捲ノ度ハ存ジマセヌカラ、昨年ノ御答ニ依リマシテ、即チ工事ノ遅々トシテ進マザル所以ヲ申上ダタ譯デアリマス、ソレカラ此小港鐵道ノ質問ニ付キマシテノ御答辯ガ、私ノ質問ニ少シモ嵌ツテ居リマセヌ、私ノ質問致シマスルノハ、即チ小港鐵道ト云フ一ツノ私設鐵道ノ認可ニ對シテ、一度線路ノ變更ヲ申請サレタノニ許可セラレナイト云フコトハ、此私設鐵道ニ對シテ不深切デアルト同時ル、交通政策ノ爲ニ、甚ダ遺憾デアルト云フコトヲ申シタノアリマス、然ルニ唯今石九君ノ御答辯ニ依リマスルト、北條及勝浦ノ沿岸ノ循環線ノ工事ノ進捲ニ付テノ御答辯デアルガ、是ハ石丸サンヨリモ、又元田鐵道大臣ヨリモ、私ノ方ガ其地方ノ有様ヲ能ク知ツテ居リマス、私ハ彼ノ地方ニ於テ漁業ヲ營ンデ居ルノデ、月ニ數回往復シテ居リマスカラ、當局者ヨリモ私ノ方ガ遙ニ其度合ハ能ク知ツテ居ルノデ、敢ア茲ニ其等ノ事ヲ口ニ致スフ好ミマセヌ又聽ク必要モゴザイマセヌ、此小港鐵道ノ一部ニ變更ヲ加ヘルニ付テ、此鐵道豫定線ノ如クニスルニ非ザレバ不許可デアルト云フコトハ、殘酷ナ譯デアルノミナラズ、即チ地方ノ交通ヲ阻碍スルモノデアルト云フ嫌ヲ持ツノデアリマス、成程政府ノ主張セラレルガ如ク、即チ大多喜線ヲ迂回致シマシタナラバ、結構デアルカモ知レマセヌケレドモ、私設會社ハ元ソレ收支ノ算盤球ヨリ出デタルモノデアリマス、國家ノ事業トハ違ヒマス、全ク國家國民ノ爲ニ必要ナモノデアルトスルナラバ、元田鐵道大臣ノ常ニ言ハレル通り、或ハ利害ヲ顧ミズ鐵道ノ敷設ヲ爲サレル場合モアリマセウケレドモ、獨リ私設會社ト云フモノハ、算盤球ガ合ハナクテハヤレナイノデアリマス、ヤレナイノニモ拘ラズ、ドウデモ

大多喜線ヲ迂回スルニ非ザレバ許可セヌト云フコトハ、是モ尙且ツ其鐵道ノ敷設ヲ許サナイ、所謂交通ヲ阻碍シテモ構ハス、產業ノ發達ヲ阻礙シ、文明ノ利器ヲ無視スル、斯ウ云フ行為ニ陥ルノアリマス、政府ハ常ニサウ云フコトデナク、成ベク産業ヲ發達ノ爲ニ交通ヲ一日モ早ク——之ヲ架ケサセタイト云フ御意思ト全ク反對ノ行爲デアルコトハ、國家ノ爲ニ私ハ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、特ニ吾々千葉縣人ト致シマシテハ、此鐵道ノ變更ヲ許サヌト云フコトハ、無慈悲ナル事デアル、吾々ハ斯ウ考ヘルノアリマス、而モ競願者ガアルト云フコトデアリマスルガ、其競願者ハ何人デアルカ、又如何ナル手段ノ爲ニサウ云フ競願ヲスルノテアルカ、更ニ有望ナル收益ヲ收メルコトノ出來ナイ鐵道、之ヲ幾人カ此經營ヲ爲サントスルト云フコトハ、詰リ我國ノ富豪中ノ富豪タル所ノ安田家ニ於テ、ソレヲ爲サントシテモ、遂行シ難キ時機ニ當テ、而モ此變更ヲ許サヌト云フコトハ、口ニ仁義道德ヲ唱ヘル裏ニ、所謂掏摸ヲ働くモノデ、不道徳ノ感ナキ能ハズト云フコトヲ私ハ感ズルノアリマス、常ニ鐵道ノ發達ヲ主張シ、高調シテ居ル所ノ政府ガ、此一部ノ變更ヲ許サズテ、之ヲ棄棄シナケレバナラスト云フコトノ立場ニ至ラシメタ其罪、甚ダ少カラザルモノデアルト私ハ考ヘルノアリマス、此場合ニ敢テ政黨ヲ云爲致シマセヌガ、間ク所ニ依リマスレバ、或ル有力者ガ——大多喜町ニ關係アル所ノ有力者、若クハ或ル政黨ノ某々等が此妨害ヲシタト云フ噂モアリマス、元田鐵道大臣ハ常ニサウ云云コトハ無、イト仰シヤツテ居ル御方デアリマスルガ、萬々アラウトハ私ハ思ヒマセヌ、又全ク其地方ノ鐵道方針ニ對シテ許可シタノデアラウグレドモ、其方針ナルモノハ、常ニ鐵道ノ速成ヲ主張セラレシ所ノ御方ニシテ、此一部ノ變更ヲ許サウト云フコトハ、私ハ不可思議千万ニ堪ヘナイノデアリマス、而モ又一度鐵道ヲ許シマシタ以上ニ於テハ、之ヲ敷設セラレル場合ニハ、一部ヲ變更スルニ付テハ、絶工ズ許シテ居ルノアリマス、然ルニモ拘ラズ、此一部ノ變更ヲ許可シナイト云フコトハ、洵ニ國家ノ爲ニ遺憾ニ堪ヘナイ、斯ウ思ヒシタカラ、斯ノ如キ大案ヲ議定スルニ當テ、本員ハ鐵道省ノ眞意ヲ疑ハザルヲ得ナイ爲ニ、此質問ヲ敢テ發スル所以デアリマス

○鶴澤委員 私が今一ツ御問題申シタイノハ、此熱海線ノ丹那隧道アリマス、此問題アリマスガ、此丹那隧道ハ極メア難工事アアルト上云フコトヲ聞イテ居リマス、現ニ昨年ハ土砂崩壊シテ、多數ノ人命ヲ損傷シ、非常ナ事ニニタコトハ皆様御承知ノ通リアリマスガ、此鐵道ハ或ル學者カラ云フト、逆モ遂行セラレルモノナイト主張ヲサレテ居ル者モアルヤウデアリマス、政府ハ飽マデ此完成ヲ期スル御見込ノヤウデアリマスケレドモ、多額ノ工費ヲ投ジテ毎日或程度迄進ンデ、之ガ遂行ヲ期スルコト能ハザルコトニナダナラバ、國家ノ被ル損害ハ極メテ多イモノカアルト斯ウ考ヘマス、昨日ノ新聞デ見マスルト、貴族院ノ或ル一部ノ人ハ、實地踏査ヲサレルト云フ御計畫モアルヤウデアリマスガ、天下ノ人ハ此一隧道ナリト雖モ、非常ニ注目シテ居ルノアリマスカラ、此丹那隧道ノ工事ノ有様及政府ノ持テ居リマス御考ヲ、此場合ニ於テ十分ニ承テ置クコトノ必要ガアルト私ハ思ヒマスカラ、一應明ナル所ノ御考ト其所見ヲ承リタイトと思ヒマス

○元田國務大臣 私カラ大要ヲ述ベマシテ、尙未詳シイ事ガ御必要アレバ、政府委員ヨリ御話致シマス、此隧道ニ付テ先般妙ナ新聞ガ出マシタ、當局トシテハ驚キマシテ、鐵道省ヲ調ベマシタガ、鐵道省ハ知ラヌ事デアブ、工事ハ進行致シテ居リマス、熱海隧道ノ企テヲ致シマシタハ、今ヨリ數年前アリマシテ、種々ナル學者ニ研究ヲ盡セマシテ、其研究ノ結果ニ依テ之ヲ採用セラマシタハ、確カ鶴澤君ノ同僚ノ諸君カ、内閣ニ立ダレテ居タ時代ト私ハ考マス、鐵道院ニハ仙石君ガオ井デハナカタト思ヒマス、其後三段々引續イテ工事ヲ進メルコトニアリマシテ、私共ハ當時御研究ニナツテ盡サレタル事ヲ續行致シテ居リマス、而シテ本會

議ノ席ニモ申上ダマシタガ、隧道工事ハ隨分工事ヲ施シ易イ道ト思ツタノガ巖石ガ出テ參々リスルコトガアリマスカラ、必ズシモ豫定ノ通りニ工事が運バヌコトモアリマス、又豫定ヨリ早ク出來上ルコトモアリマス、併ナガラ熱海隧道ニ於テ決シテ今日遂行ガ出來ヌト云フヤウナコトハ毛頭思ツテ居ラヌ、工事モ著々進行シテ居ルノデアル、是ダ々ハ私ヨリ中上ダテ置キマシテ、尙ホ其工事ノ内容等ニ付テノ御質問ガアリマシタナラバ、政府委員ヨリ細カニ申上ダルコトニ致シマス  
ス

○富安委員長 鵜澤君、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○鵜澤委員 私ガ一人テ質問ヲ重ネテ居シテモ如何カト思ヒマスカラ——併シ尙ホ細カニ問題ニ付テハ、先程申マ通り質問ヲンタイモノガ多々アリマスル、デソレハ保留シテ置キマシテ、曾ク他ノ方ニ譲ルコトニ致シマセウ

○根本委員 本案ニ付キマシテハ、既ニ昨年本院ヲ通過セラレタ問題デ、而シテ此度再ヒ御提出ニナッタノデ、細カイ説明書ヲ吾々ニ御示シニナリ、且ツ之ニハ鐵道線路分布圖ナドモアリマシテ、能ク諒解致シテ居ルノデアリマス、私ガ簡單ニ御尋シタ伊事ハ、若シ此法案ガ昨年兩院ヲ通過サレタナラバ、今年ノ議會ニ於テ定メテ新線路ノ御計畫モアラレタモノニアラウト信ジマス、故ニ此法案ガ當議會ノ初メニ於テ御提出ニナリマシタノハ、一日モ早ク此案ガ通過シテ、國民ノ希望スル通りニ線路網中ノ最モ必要ナルモノハ、追加豫算ヲ以テ御出シナルベキモノニアラウト思ヒマスルが、無論其場合ニ於テハ、財政ノ御計畫モアリマスルカラ必ラズ此處ニ於テ御明言ニナルコトモ御出來ニナラヌト思ヒマスガ、幸ニ海軍ノ縮小其他ノ結果、即チ教育費アアルトカ、又ハ道路其他河川工事等ノ上ニ、軍備縮小ノ結果一億數千万圓ノ中ヨリ利用スルト云フヤウナ事モアリマスルカラシテ、吾々國民ハ一日モ早ク此鐵道ヲ實行スル爲ニ、成ベク追加豫算ヲ當局ニ於テ御計畫ニナルヤウニシタイガ是ハドウ云フ風ナ御積リデアルカ、伺ヒタインデアリマス、法案ニ付キマシテ、財政ノ行詰リデアル、或ハ急ニ行ハレスカラシテ、他日更ニ出シケラバ宜カラウト云フヤウナ御説モアルヤウデアリマスガ、財政ガ行詰リナラ行詰リナ程、是ハ急ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、今日世界ノ大勢ガ大ニ變化シテ、何事モ世界ノ大勢ニ順應スル所ノ國ハ益、國力ガ發展スル、世界ノ大勢ニ逆ラウモノハ益、失敗スルノデアリマス、何故ニ此敷設法ガ急イデ早クシナケレバナラヌカト云フコトヲ私ガ質問シテ、此追加豫算マテモシタイト云フコトハ、先づ第一ニ今日ノ世界ノ有様ガ、鐵道ノ有ル國ハ益、盛んデアル、鐵道ノ無イ國ハ益、財政ガ行詰チテ居ル、ドノ國ダ財政ガ

行詰テ居ルカト云ヘバ、支那程行詰テ居ル國へ無イ、私  
ガ先日支那へ參りマシテ、財政ノ調査ヲ致シマシタガ、アノ  
四億ノ民デ國稅ト云フモノハ僅ニ一億程シカ無イノデアル、  
アトハ皆ナ十八省ノ督軍デ支配シテ居ルノデアリマス、我ガ  
日本帝國ハ十五億ノ收入ガアルト云フノデ、決シテ行詰タ  
ト云フコトハ、此世界ノ大勢ニ比較シテ無イ又鐵道ノ一番  
多イノハ何處カト云フ亞米利加アル、亞米利加ハ御承  
知ノ通り、人口一億万餘デアリマスケレドモ、鐵道線路ハ二  
十五万哩モアル、シテ見マスルトドウシテモ、今日ハ既ニ經濟  
ノ主力ヲ占メテ居ル處モ、大正五年頃マデハ歐羅巴ノ倫敦  
デアッタガ、今日ハ亞米利加ノ紐育ニ移タ、又人口モ倫敦  
ヨリハ紐育ノ方ガ多イト云フコトニナツテ居ル、シテ見マスト  
何レノ點ヨリ見テモ、鐵道ヲ速成スルト云フコトハ、非常ニ  
國家ノ經濟財政上ニ對シテ、重要ナル問題デアリマスカラ、  
政府當局者ニ於テモ、此案が通過シマシタナラバ、速ニ必  
要ナル豫算ヲ御出シニナルデアラウト云フコトヲ、一ツ仰尋  
シテ置キマス、殊ニ此説明書ノ中ヲ見マスト云フト、此中ニ  
出テ居ル線路ノ中ニハ、大正三年大正四年中ニ、既ニ豫算  
ニ載シテ居タ線路モアルノデアルソレガ、速ニ必  
要ナル豫算ヲ御出シタカラ、必ズ速ニ通過サレルモノト  
リシテ延ベラレタモノモアッテ、是ハ夙ニ今ハ出來ア居ナケレバ  
ナラヌト云フ線路モ見受ケラレル、シテ見マスト、鐵道網ガ  
成立セヌ故ニ、今年ハ一ツモ新線路ガ出來ナイト云フコトデ  
リス、幸ヒ今年ハ早ク出シタカラ、必ズ速ニ通過サレルモノト  
信ズル、其結果此追加豫算トシテ御出シニナルヤウニ希望  
スルノデアリマスガ、尙ホ之ニ付テノ政府ノ意見ヲ伺ニテ置  
ク、今一ツ同ヒタイノハ、鐵道ヲ斯ノ如ク向フニ、三十年間  
ニ此大計畫ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、單リ内地ノミ  
ナラズ、我ガ日本帝國ノ發展シタノハ、鐵道ノ力大ナリデ、  
北海道ノ如キモ其賜アルト思フ、朝鮮デモ朝鮮ノ鐵道ガ  
別ニナツテ居リマスルガ、是ハ矢張鐵道省ニ於テ北海道ヲ  
支配スル如ク支配サレマシタナラバ、國家ノ經濟上宜シイデ  
ハアルマイカト考ヘマスルガ、ソレハ鐵道バカリデハナイ、其  
外ノ事ニ付テモ私ハ調查シテ居リマスカ、例ヘハ關稅ノ如  
キモ、内地ノ如キ關稅ヲ行ハナイノデアリマスガ、隨テ文化ノ  
進歩發展ト云フモノガ、朝鮮ニ於テ遲々タル有様デアリマ  
スガ、此鐵道ノ事ニ付テハ、後來朝鮮ノ鐵道ハ、北海道、  
或ハ樺太ノ如ク取纏メタ方ガ、朝鮮ノ爲メ、帝國ノ爲メメ  
イヤウニ思ヒマスルガ、是等ニ付テノ御方針ハ如何ニナツテ  
居ルカ、ソレヲ一應伺シテ置キマス

○元田國務大臣 鐵道敷設法ガ通過シタナラバ、追加豫  
算ヲ出シテ、新規路ノ豫算ヲ提出スルカドウカ、斯様ナ質問  
デアリマス、今日ソレニ付テ財源ガ許スナラバ、鐵道當局ト  
致シマシテハ、一日モ速ニ致シタイト思ヒマスガ、今日サウ云  
ト場合ニナツテ居リマセヌカラ、本年出シテ居リマセヌ、又今  
後ニ於テ、華盛頓會議ノ結果デ、軍備制限ノ爲ニ非常ナル  
金ガ餘ルヤウニナツテ來タラドウスルカトノ御問テアリマスガ  
總理大臣ノ説明サレタル施政ノ方針中ニ、治水教育、普通教育ノ國庫補助是等ノ點ニモ考慮ヲ致ス積リデアル  
トゴザイマス、ソレカラ又最後ノ方ニ至リマシテ、今後世界  
大勢ハ文化ヲ進メ、文化上ノ競爭ガ非常ニ盛ニナル、此秋  
ニ當ツテ帝國モ亦是ガ準備トシテ、益々運輸、交通、產業、貿易ノ振興ト完成ヲ期ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ言ハ  
テ居ル、財源ニ餘アルコトニナリマシタナラバ、適當ノ措置  
ヲ政府ハ執ルコト、信ジマスガ、マダ今日之ヲドウスルト云  
フコトハ分リマセヌ、但シ政府ハ、一日モ速ニ鐵道ヲ完成シ  
タイト云フ考ヲ持テ居ルコトハ、度々繰返シテ申ス通リデ  
アルソレカラ朝鮮鐵道モ内地同様ニシテ、朝鮮人モ同一ノ  
取扱ヲ爲シタラバ、皇化ニ沿シテ誠ニ結構デアルト云フ御  
意見デアリマスカ、朝鮮鐵道ハ満洲鐵道ノ一部分ト致シテ  
アリマスガ、近來ハ其運輸交通ノ關係ダケハ、鐵道省ノ監督ニナツテ居リマス、御答致シマスレバ、即チ鐵道ノ運輸  
ニ關スルダケハ監督致スコトニナツテ居リマス、只今内地人ヲ取扱フ如ク朝鮮人モ扱へトノコトデアリマシタガ、今日  
デモ同一ノ待遇ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、朝鮮人デアルカラシテ、運賃ヲ高ク取ルトカ、或ハ慘酷ナル取扱フシテ鐵道  
ニ乗セヌト云フコトハ、斷ジテ無イノデアリマス、内地人ヨリモ始終鐵道ニ乗テ往復スル朝鮮人ハ、是等ノ人ハ大切ナ  
リス、今日支那四億ノ人ニ對シテ僅ニ三、四千哩ノ鐵道シカ  
無ナクテ、實ニ今デハ非常ニ鐵道ヲ希望シテ居ル、之ヲ充タ  
ス所ノモノハ、先ヅ亞米利加ニ於テ機關其他ノ物ヲ輸入ス  
ルト云フヤウナ計畫モアルヤウデアリマスガ、併ナガラ日本モ  
接シテ居リマスカラシテ、機關ニ於テモ、人ニ於キマシテモ、  
或ハ技術ノ點ニ於キマシテモ、大ニ之ヲ利用スルコトガ出来ルダラウト思フノデアリマス、デアルカラシテ、此計畫ト共ニ、之ヲ附屬スル所ノ所謂養成ガ、ドレ程ノ手配ニナツテ居リマスカ、之ヲ一應御伺致シタイ

○石丸政府委員 前段ノ御質問ニ付キマシテ、此日本ノ  
鐵道ニ使ヒマスル總テノ運轉材料ト申シマスルカ、車輛、車軸、  
機關車、貨車ノヤウナモノ、サウ云フ物ノ主ナル材料ニ付テ  
ノ事ハ人ヲ取扱フ所ノ相違デナクテ、所謂經濟上ノ取扱  
方ニ付テ同ダノデアリマス、私ハ更ニ伺ヒタイノハ此鐵道敷  
設ノ爲ニ、之ニ對シテ輸入スル所ノ鐵道ノ車輛、或ハ汽罐ト云  
フ方針ヲ採ツテ居リマス、ソレ故ニ機關車ハモウ内地ノ工場  
ニ於キマシテ、西洋カラ輸入致シテ居ル物ニ優ルトモ劣ラヌ  
物ガ、今日デハ出來ルノデアリマス、唯ダ其量ニ於テ日本デ  
要求スルモノニ足リマセヌ時ニ、注文致ス物ガ、ゴサイマス、ソ  
レカ又最新ノ機械、電氣機械、或ハ又土工、其他工事用機械  
トシテモ、亞米利加、或ハ英吉利、獨逸ト云フヤウナ處ハ  
何方モ精巧ノ機械ガ早ク發明ラシマスカラ、ソレハ長ヲ採ツテ  
容レナケレバナラヌ物ハ、皆矢張採ツテ居リマス、軌道ノ如キ  
物ハ間ニ合ヒマセヌ時ハ皆ナ採ツテ居リマスケレドモ、方針  
ト致シマシテハ、成タケ内地デ自製自給ト云フコトヲ考ヘ  
居ルノデアリマス、ソレカラ朝鮮ノ方ニ關連シテ御話ガゴザ

イマシタガ、朝鮮ノ鐵道ニ使ヒマスル總アノ物、又滿洲ニ於ケル物等ニ於キマシテモ、今ノ私等ノ個人ノ考カラ申シマスレバ、無論日本デモ此話ヲ致シタイヤウニ思フノデアリマスガ、マダソレ迄自分ノ國ノ鐵道が發達シテ居リマセカラ、他ノ事ヲスルコトハ出來マセヌガ、即チ自分ノ國ノ鐵道ノ計畫策ヲ立て、置イテ、速ニ手ヲ伸バスヤウニ致シタイト思ッテ居リマス、ソレカラ又支那ノ鐵道ヲ造ルト云フ事ニ付テ、質問者ノ御意見ニハ全然同感アリマス、是等モ今此考ヲ頭ニ置イテ、支那ト日本ガ成タケ手ヲ携ヘテ、サウシテ交通機關ヲ發達サシテ、支那ト共ニ共通ノ利益ヲ得タイトニ云フコトハ、是ハモウ皆ナ誰モ考ヘテ居ル次第アリマス、是デ以テ即チ自分ノ國ノ鐵道ノ整理ヲ致シマスレバ、外ニ向シテ考ヲ出スコトハ甚ダ易イノデアリマス、ソレ故ニ今御話ノ技術家問題ニ付キマシテモ、數十年來カラ支那ノ秀才ヲ此方へ預リマシテ、最早既ニ二十人許リノ鐵道關係ノ者ヲ造リマシテ、サウシテ、一昨年人ヲ附ケテ向フニ歸シ、支那ノ鐵道ノ要路ノ位置ニ就ケテ、サウシテ歸テ來タヤウナ次第デ斯ノ如キ人等ハ、今日支那ニ於キマシテ鐵道ノ經營ノ位置ニ立テ居リマス、サウニ云フ工合ニ致シテ、矢張人ヲ造ルト云フコトニ、鐵道省ヲハ矢張考ヲ持シテ居ルノデアリマス、隨テ此鐵道ノ材料ニ對スルコトモ、支那デ使フ材料ヲ成ベク日本カラ送シテ使ハシメタイ、斯ウ云フ考ヲ持シテ居リマスガ、如何セン今日ハ支那ニ於キマシテモ、亞米利加、若クハ獨逸邊リカラ、隨分人ヤ品物ガ入テ來ルノデゴザイマスガ、是ハドウモ我々ハ至當ナ事ト考ヘテ居リマス、要スルニ是ハ高等政策ニ屬スル事アリマスガ、事實ニ於テハ、著々御意見ノ如ク進シテ居ルノデアリマス

○石丸政府委員　此輸入品ノ金高ハ、是ハ戰爭後カラ年非常ニ變テ居リマス、ソレ故平均ヨリ一寸申上ダルコトハ函館、青森間ノ聯絡船ハ、是ハ此鐵道關係ノ旅客貨車ハ、總テ鐵道省デ扱テ居リマス、船ハマダ悉ク鐵道省ノ要求程出來テ居リマセヌノデ、傭船ヲ以テ補テ居リマスガ、是近キ將來ニ於テ、鐵道省ノ船ガ出來マスレバ、總テ自分ノ所ノ船デ出來ルダラウト思ヒマス、此所ハ御承知ノ如ク列車ヲ乗セテヤル積リデゴザイマス、貨物列車ヲ載セテ、其儘出ス積リデアリマス、ソレハ今造ツテ居リマス、ソレカラ馬關ト朝鮮ノ方ハ、矢張國有鐵道關係ノモノハ總テ聯絡ヲ取シテ貨物モ旅客モ聯絡ヲ致シテ居リマスガ、是ハモウ御承知ノ如ク、他ノ船モ澤山致シテ居リマスノデ、是モ鐵道省ニ於テ經營致シテ、漸次新シイ船ガ注文シテ出來マスマデ、之ヲ以テ補テ居リマス、サウ云フ次第アリマス

○富安委員長　是デ休會ヲ致シマシテ午後一時カラ始マス

デアリマス、是等ノ御方ニ向テ、決シテ失敬ナ事ヲシャウト  
ハ考へマセズ、又政友會ノ諸君ニモ、感情ヲ御害ヒ申スヤウ  
ナ事ハ致サヌ積リデアリマスカラ、其言葉ノ端ナゾ御感障  
ガアリマシテモ、其意中ヲ先以テ諒トセラレンコトヲ、昨日ノ  
光景モアリマシタカラ、此際一言御頼ミ致シテ置キマス、是  
ヨリ本問題ニ移リマス、明治二十五年六月ニ此鐵道敷設  
法ヲ設ケラレマシテ、其時ニ定メラレタル線路ノ通りニ實行  
セラレタモノ、爾來改正セラレタルモノ、追加セラレタルモノ  
等、其加除等ヲ第一ニ御伺致シマス、大臣閣下ハ二十五  
年ニ作ツタ法律云々ト、斯ウ簡單ニ仰セニナラレマスルケレ  
ドモ、爾來改正追加度々アリマス、此法案ハ昨年ノ議會  
ニ出マシタガ、其昨年ノ直前ノ臨時議會ニモ鐵道敷設法  
ハ改正セラレテ、五六線ヲ追加ニナシテ居リマス、五、六線追  
加ト云フコトハ、國家ノ財政ノ上カラハ大事業デアリマス  
ソレ程ノ事業デアルノヲ改正セラレテ、僅カ半年足ラズニ、又  
直チニ今度根本的ノ改正案ニナッタ、ソレハ時ノ宜シキニ應  
ジテ、年々改正スルモ妨ダハアリマセヌケレドモ、餘リト云ヘ  
バソレガ急激ノヤウニモ思フノデアリマス、ソレデ鐵道ヲ創メ  
ラレタ以來、其豫定計畫通りニ行シテ居ラヌ、變テ居リマス  
カラ、其等ノ事ヲ此際大體ニ於テ承知致シタウ思ヒマス  
○元田國務大臣　只今ノ御尋ハ、鶴澤君ノ御質問ノ時ニ  
御答ヘシタノデ、御了承ヲ願フコトガ出來ルト私ハ信ジマス  
政府ハ間断ナクヤテ居ルノデアリマス、私が就任致シマシテ  
カラハ、僅十歲月デゴザイマス、鐵道省が置カレマシテ當局ニ  
相成リマシタ、而シテ拜命後ニ輕便式ニ致シテ、是ハ前議  
會ニ於テ既ニ提案ニナシテ居リマシテ、ソレカ議會解散ノ爲  
ニ成立トナラナカッタノデアリマス、就任勿々ニ之ヲ是認致シ  
マシテ出シマシタ、之ヲ以テ將來ノ計畫ヲ定メタモノトハ認  
メテ居ラナイノデアリマス、私ハ鐵道省が置カレマシテ、不肖  
其當局ニ當リマシタカラ、此際總テノ法制ノ上ニ於テ、今日  
膨脹シタル鐵道、及將來更ニ膨脹スベキ鐵道經營ニ對シテ、  
相當ノ制度ヲ設クル責任アリト思ヒマシテ、六、七案議會ニ  
道ト相俟テ交通機關ヲ完ウシナケレバナラニ必要ガアリマス  
提出致シマシタ、其提出致シマシタ中ニ、一ハ將來ノ鐵道  
スルカラ、地方鐵道ニ對スル關係、法律ノ改正、ソレカラ改良  
ノ上ニ於キマシテ、先づ最モ大ナルモノトシテ、私ノ經營シタ  
來マスル所ノ鐵道ヲ經營スル所ノ特別會計法、又地方鐵  
法ニ至リマシテ、不幸ニシテ未了ニ終タノデアリマス、抑モ



二十五年ノモノハ是ダケ出来上<sup>タ</sup>テ、是ダケ残ルノデス、其殘リハ今申シタ船橋佐食、及久留米ヨリ熊本ニ至ルト云フ二線路ガ残<sup>タ</sup>テ居リマス、ソレデ是ハ御手許ニゴザイマセウカ、鐵道敷設法ノ二十五年六月二十一日法律第四號ノ中ニ、上越線トシテ群馬縣下高崎ヨリ新潟縣下長岡ニ至ル鐵道、是ガ加ハリマシタ、ソレカラ福島縣下平ヨリ郡山ニ至ル鐵道、是ガ亦二十五年ノ制定當時ニ加ハリマシタ、是ハ同ジ時ニ加ハタモ、デハアリマセヌ、其時々ノ新線路ヲ出ストキニ、法律ヲ變ヘテ加ヘナ<sup>ト</sup>ニアリマス、ソレカラ和歌山縣下下和歌山ヨリ田邊、新宮、及三重縣下長島ヲ經テ相可ニ至ル鐵道、是ナドハ今ノ線ニナ<sup>ッ</sup>タカラ加ヘマシタノデリマス、岡山縣下岡山ヨリ宇野ニ至ル鐵道、岡山縣下岡山ヨリ鳥取縣下米子ニ至ル鐵道、熊本縣下八代ヨリ鹿兒島縣下米津ヲ經テ鹿兒島ニ至ル鐵道、福岡縣下久留米ヨリ大分ニ至ル鐵道、是ガ御手許ニ上<sup>タ</sup>ゲテアリマスル中ニ追加シタノガアリマス、マダ此外ニ追加シテ法律ヲ變ヘテ參<sup>タ</sup>次第アリマスガ、今此法律案トノ異ナル所ハ、何モ無イノデアリマスガ、是ハ其時々ニ行政官ノ考ヲ以テ、新線路ヲ寸急<sup>ク</sup>カラ入レタイト云フノデ改正シテ入レマスル次第アリマス、其間ニ一昨年ハ隨分此大キナ追加ト思ヒマスガ、一年ニ五箇線追加セラレタ、是ハ私モ實際ハ能ク知リマセヌ、唯夕議會ニ現ハレタ所——刷<sup>タ</sup>紙ニ残<sup>タ</sup>テ居ルダケデアリマスガ、鐵道敷設法ノ改正ト云フモノガ一昨年行ハレテ、昨年ニナ<sup>ッ</sup>テソレ<sup>タ</sup>全クス<sup>タ</sup>云フ風ニ改正サレタノデアリマス、其間ニハ特ニ昨年此改正ヲセラレバナラヌト云フモノハ、半年ニシテ、サウシテ茲ニ急ニ改正セネバナラスト云フコトニナリマシタ次第ハ、今マデノ御説明デハドウモノコガ私共了得シマセヌガ、序ニソレヲ此際説明願ヒタイト思ヒマス

○元田國務大臣 昨年ト仰セデゴザイマスガ、私共ガ就任シタ前デゴザイマスガ——ソコ<sup>ト</sup>成程原内閣トシテ、ズット來マシタノハ續イテ居<sup>タ</sup>、サウ云フ形式カラ云ヘバサウナルガ、ソレデ段々架<sup>タ</sup>テ參リマスレバ、同ジ事デス、非常ニ急<sup>ク</sup>線ガ定シテ掛リマスカラ、是ト違フ所ハ即チ國ノ鐵道ノ網ノ經過地並其方向、並ニ目的ト云フモノガ、今カラ凡<sup>ト</sup>分ラウ、ソレデ段々架<sup>タ</sup>テ參リマスレバ、同ジ事デス、非常ニ急<sup>ク</sup>線ガ正シテ加ヘルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイ事ト思ヒマス、昨日モ鶴澤サンニ申上ダマシタ通り、百七十三線路ガ今置イタヤウデアリマスケレドモ、之ヲ皆ナ仕上<sup>タ</sup>ゲル間ニハ、必ズ又減スコトハアリマセヌガ、殖<sup>タ</sup>スコトハ必ズ起ルグラウト思フノデアリマス、ソレカラ私ハ昨日モ荒川サンノ御顔ヲ拜シテ、ドウモ材料ガ欲シヤウナ御顔デゴザイマシタカラ上<sup>タ</sup>ゲタイト思<sup>タ</sup>、ソレヲ申上<sup>タ</sup>ゲルト思ヒマシタガ、ツイ其場合ニ於テ、私ノ意ガ通リマセヌテゴザイマシタガ、材料ヲ惜<sup>タ</sup>ンダリ、ソンナコトハ決シテゴザイマセヌ、出來ルダケ御諒解ヲ得タ後ニ、御快イ御贊成ヲ願ヒタイト思ヒマス、御心配ナクドウゾ<sup>ト</sup>。○荒川委員 唯今ノ次官ノ御説明ハ諒ト致シマス、尙ホヒタイト云フ特ニ御注意モ承<sup>タ</sup>テ居リマス、サウ云フコトハ更ニ私ノ頭ニコサイマセヌ、追々ニ必要ト認メル材料ハ、御願スル積リデアリマス、唯今ノ御面倒カ知レマセヌケレドモ、日本三鐵道敷設以來計畫ヲ立テラレテ、ソレニ追加セラレ、

改正セラレ、線路ヲ變更セラレ、或ハ一期間ノ上ニ二期線ヲ入レラレタモノ、其等ノ事實ハ、唯今唯夕口頭<sup>ト</sup>承<sup>タ</sup>テモ能ク頭ニ残リマセヌカラ、委員會ノ或<sup>ト</sup>適當ノ期間ニ於キマシテ、參考トシテ御調ノ書類ヲ頂戴致シタイト思ヒマスガソレハ如何テゴザイマセウカ ○石丸政府委員 差上ダマス、明日大概持參スルコトガ出來ヤウト思ヒマスカラ、出來マシタラ差上ダマス ○荒川委員 其次ニ一昨年ハ隨分此大キナ追加ト思ヒマスガ、一年ニ五箇線追加セラレタ、是ハ私モ實際ハ能ク知リマセヌ、唯夕議會ニ現ハレタ所——刷<sup>タ</sup>紙ニ残<sup>タ</sup>テ居ルダケデアリマスガ、鐵道敷設法ノ改正ト云フモノガ一昨年行ハレテ、昨年ニナ<sup>ッ</sup>テソレ<sup>タ</sup>全クス<sup>タ</sup>云フ風ニ改正サレタノデアリマス、其間ニハ特ニ昨年此改正ヲセラレバナラヌト云フモノハ、半年ニシテ、サウシテ茲ニ急ニ改正セネバナラスト云フコトニナリマシタ次第ハ、今マデノ御説明デハドウモノコガ私共了得シマセヌガ、序ニソレヲ此際説明願ヒタイト思ヒマス ○元田國務大臣 昨年ト仰セデゴザイマスガ、私共ガ就任シタ前デゴザイマスガ——ソコ<sup>ト</sup>成程原内閣トシテ、ズット來マシタノハ續イテ居<sup>タ</sup>、サウ云フ形式カラ云ヘバサウナルガ、ソレデ段々架<sup>タ</sup>テ參リマスレバ、同ジ事デス、非常ニ急<sup>ク</sup>線ガ定シテ掛リマスカラ、是ト違フ所ハ即チ國ノ鐵道ノ網ノ經過地並其方向、並ニ目的ト云フモノガ、今カラ凡<sup>ト</sup>分ラウ、ソレデ段々架<sup>タ</sup>テ參リマスレバ、同ジ事デス、非常ニ急<sup>ク</sup>線ガ正シテ加ヘルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイ事ト思ヒマス、昨日モ鶴澤サンニ申上ダマシタ通り、百七十三線路ガ今置イタヤウデアリマスケレドモ、之ヲ皆ナ仕上<sup>タ</sup>ゲル間ニハ、必ズ又減スコトハアリマセヌガ、殖<sup>タ</sup>スコトハ必ズ起ルグラウト思フノデアリマス、ソレカラ私ハ昨日モ荒川サンノ御顔ヲ拜シテ、ドウモ材料ガ欲シヤウナ御顔デゴザイマシタカラ上<sup>タ</sup>ゲタイト思<sup>タ</sup>、ソレヲ申上<sup>タ</sup>ゲルト思ヒマシタガ、ツイ其場合ニ於テ、私ノ意ガ通リマセヌテゴザイマシタガ、材料ヲ惜<sup>タ</sup>ンダリ、ソンナコトハ決シテゴザイマセヌ、出來ルダケ御諒解ヲ得タ後ニ、御快イ御贊成ヲ願ヒタイト思ヒマス、御心配ナクドウゾ<sup>ト</sup>。○荒川委員 私ハ大變間ヲ近ク思フノハ、九年夏ノ臨時議會ニ五線路ヲ追加セレタト心得テ居リマス、其間一年デルナイガ、僅カ四五箇月<sup>カ</sup>、半年經タヌ中ニ變リマシタノデ、私共鐵道ニハ素人デアルガ、トウシテ一體無方針ニ改正ス

バ北海道敷設法アリ、其他何遍モ單行法律デ出テ居ルノ  
デ、今日ハ無用ニナツタ法律モアリ、之ヲ整理シテ輕便式デ  
アルカラシテ、本法ニハ依ラナイ慣例ニ依レテカラ、豫算ダケ  
ニテ請求ヲスルト云フヤウナ、混雜ナモノハ不可デアル、今度  
出シタノハ前ノ慣例ニ依ルカラ、敢テ違法ナリトハ言ハヌガ、  
鐵道大臣ニ於テハ是等ノ法ヲ整理シテ、敷設法ノ改正ナリ、  
其他ノ法律ヲ出スナリ、秩序整然タルモノニシテ貴ヒタイト  
云フコトガ、附帶ノ希望デアリ、私モ其時精々之ニ努メル積  
リデアリマスト云フコトヲ答ヘマシテ、其次ニ議會ニ出シマシ  
タノカ、先刻申上げマシタノ會計法ノ改正、地方鐵道法ノ改  
正案二件、ソレカラ敷設法、斯ウ云フコトニナズデ、ソレデ、荒  
川サンノ御記憶ニナツテ居ルノハ輕便式ト云フノデ、アレハ  
四十議會デアリマシタカ、解散ニナツタ議會ニ出テ居テ、私  
ガ就任スル間モナク臨時議會ニ出タ時ニ、之ヲ繼承シテ提  
案ヲ致シマシタノヲ仰シャルノナラ、ソレハ有リマシタガ、敷  
設法ヲ改正シテ五本、六本出シタト云フノナラ、是ハ私ノ就  
任前ノ議會、即チ解散ニナツタ前ノ議會デアルカト思ヒマス、  
斯ウ私ハ記憶ヲシテ居リマス

○荒川委員 唯今ノハ記憶ヲ述マテノ御話デアリマスガ、鐵  
道最初以來ノ加除追補等ノ参考書ヲ御出シ下サルト云フ  
ノデアリマスカラ、ソレヲ拜見シタ上デ、茲ニモウ少シ疑團  
ガ殘フテ居リマスカラ、此點ハ保留ヲ致シテ置キマス、ソレニ關  
係シテ御尋ニシタイノハ、大正九年ノ臨時議會ニ五線路ヲ  
追加セラレ、其時分元田大臣閣下ハ其職ニ在ラレタニ拘ラ  
ズ、豫算ヲ繼承セラレタノデ、其前カラノ御計畫ノ御案中ニハ  
關係ガナカッタノハ諒ト致シマスガ、然ルニ其後半年ニ至リテ、  
此敷設法ガ昨年ノ議會ニ出テ、其御説明ニ於キマシテハ、  
此敷設法ナルモノハ、何十年以來心血ヲ注イデ調ベタ線路  
デアル、決シテ杜撰ナモノデナイト言ハレタ、杜撰ナモノトハ  
私共決シテ申ス譯テハアリマセヌカ、其前ニ五線路ヲ追加  
セラレテ、其後半年經ツカ經タスカニ、此度ハ是ハ十數年心  
血ヲ注イデ調ベタモノト言ハレマスト、サウスルトドノヤウニシ  
テ調ベタコト云フヤウナ疑ガ起ルノデアリマス、若シ此敷設  
法ヲ前カラヤル積リテ御調ニナツテ、是ガ出タノナラ是モ出  
テ當リ前デアリマスガ、僅カ半年前ニハ五線路ヲ追加セラレ  
テ、其後出タノト其前ノ關係ヲ切離シテ、何十年前カラヤ  
タモノデアルト云フコトデアリマスカラ、其御調ガ如何デアリ  
マスカ、一寸言ヘバマルデ方向變換ニナツタヤウニ思ヒマス、  
リマス、ソコヲ聽キタイト思テ、私ノ此質問アル所以デアリ

○元田國務大臣 御諒解ニナル筈アリマスガ、以前ハ十數年來各線路ヲ調査シテ居シテ、其調査シタモノカラ五本ナリ、七本ナリト云フモノヲ、特ニ政府が輕便式ト云フヤウナコトニ依テ、出シタ、左様ナ仕方ハ宜シクナイト同時ニ、私が就任シテカラノ調べハ此間誰カ問ハレタ、鐵道省ノ腹ノ中ニ收メテ置ケバ宜イデナイカト「云フヤウナ——輕便式アチヨイ」トヨイ出スノハソレハ宜シクナイ、全國ニ涉セ日本帝國ノ鐵道網ハ斯クナケレバナラヌト云フコトガ調ベノ付イタモノニ付テ調査シタノガ一ツトナッタカラ、之ヲ法律ト致シマシテ、將來完成ヲ急イデスルト云フコトガ適當ナリト私ハ認メシタカラ、ソコデ提出スルコトニナッタノデ、前ハスウデアッタ、政府ガ迭ル度ニ若干ノ線路ヲ、出シテ來ルト云フコトハ宜シクナイ、豫メ全國ノ脈絡貫通シタル鐵道網ヲ調ベテ置イテ、其中カラ財政ノ許ス範圍ニ於テ、漸次建設シテ行クト云フ計畫ガ立テ、始メ適當ノ事ト信ジ、私ハ之ヲ提案スルコトニナッタ、斯様ニ申上ダタノデ、ソレデ御分リニナルダラウト思ヒマス

○荒川委員 大臣ノ御説明ハ分リマシタ

○元田國務大臣 一寸——此鐵道敷設法ヲ改正シテ、大正九年ニヤラレタノハ前任者ノヲ繼承シタ言ヘバ、其點ハ諒トスルケレドモト云フ御言葉ガゴザイマシタガ、ソレハ前ノ議會デアリマセウ、恐クハ私ノ繼承致シタ云フノハ、輕便式ニ依テ豫算ノ形式ヲ請求シタ、其案ヲ踏襲シタ、矢張其豫算案ヲ出シテ御協賛ヲ經タ、斯ウ云フノデアリマス、ソレハ少シ違ヒマス

○荒川委員 少シク私ノ記憶ト違ヒマスガ、ソレハ先ニ申スヤウニ、唯タ是マデノ方針ハ全國ノ中ヲ見渡シテ、此處ハ先ニ架ケナケレバナラヌト思ウテ、ソレガ出サレタ——ソレガ調ベテ出サレタ所ガ、半年經タナイ中ニ、此大敷設法ヲ出サレルト云フコトニ付テハ、其際ニ實地ヲ調ベナケレバ出來ヌ譯ト思フ、前三調ベガアタト云フノナラ、年々ノ追加シタル方針ニ反シタコトハナイカト云フコトガ疑ハレルノデ、ソコヲ私共ハ質問申スノデアリマス、其點ヲモウ一應御説明ヲ願ヒタ

○石丸政府委員 私ヨリ御答致シマス、大正九年ニ臨時議會ヲ開イテ、サウシテ鐵道線路五線、輕便線二十一線スモノヲ出シタト云フ、斯ウ云フ御話、是ハ洵ニ私ハ遺憾ニ思ヒマスガ、昨年カラ敷設法ノ由來ヲ申上ダテ居ルノデアリマスガ此由來ヲ能ク御考下サレバ、サウ云フ御質問ハ出ナイコト思ヒマス、ソレハ斯ウ云フ譯デアリマス、此線路網ト云フモ

ノハ、今日差上ダマシタ線路網ナルモノハ、非常ニ意義ヲ爲シタ線路網ニナリマス、是ハ前ニ歴史ガアル、ソレハ私ガ七年一八年ノ春ノ議會ニ於テ、矢張敷設法改正ノ時ニ申道院ノ總裁ノ後藤男爵ガ、是非線路網ヲ作ツテ、鐵道線路ヲ良クヤラナケレバナラスト云フノデ、何デモ宜シイ、輕便線デモ何デモ宜イカラ、ヤラウデハナイカト云フノデ、抑、ヤリ來シタノハ獨逸ノ線路網ヲ採ツテ、全國中ノ線路ヲ調査シテ、敷ケル所ヲ作ラウデハナイカト言フ話が出来、其時建設部ガ命ゼラレマシテ、網ヲ作り始メタノデアリマス、其網ノ起りナルモノハ、此間カラ申上ダル通り、二十五年ノ敷設法發表當時ニ、全國線路調査ト云フモノガ出來マシテ、爾來年々内地ニ於テ出來得ベキ鐵道ヲ調べテ、是ハ年々調べテ居ルノデアリマス、年々調べテ大正九年マデ參リマシタ、今迄出シタ線路網モ、矢張其調查致シマシタ八百本ノ中カラ、急グモノヲ擇テ出シテ參リマシタ、ソレハ唯今ノヤウナ線路網トシテ、之ヲ一ノ國策トシテ出スノニハ、マダ調べガ足リナカッタ、デ八百線ノ中カラ之ヲ擇タノデアリマスガ、是ガ線路ニナルマデニハ、餘程年數ガ掛ケテ、大正十年ノ十二月ニ漸ク出來マシタカラ、是ダケアレバ、第二期線トシテ出スノニハ是デ宜シイ、或ハマダ出シタイケレドモ、先ツ是デ宜シカラウ、丁度現行ノ敷設法ガ二線ダケフ剩スノミデアリマスカラ、此所デ増加シナケレバナラスト云フコトニナシテ、當大臣ガソレニ依テソレヲ贊成セラレタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此線路ヲ有意義ノモトシテ、之ヲ國策トシテ出スト云フノハ、ズット以前カラ考ヘテ居タノデアリマス、其準備ヨシテ參ツタ中途ニ於テ、新線ヲ出來ルダケヤラナケレバナラスト云フノデ、大正二年ト思フ、山本内閣ノ時ニ矢張は政策ヲ重ク考へラレテ、其時三十線ノ輕便線ヲ出シタ、所ガ大隈内閣ニナッテスカリ止メマシタ、ソレデ今度ノ内閣ニナシテカラ、四大政綱ノトシテヤルト云フノデ、其線路ノ中カラ擇リ出シマシテ、大正七年ノ暮ニ――大正八年ノ議會ノ時ニ、慥カ何線路カラ出シタノデアリマス、ソレカラ其時ハマダ出シタカツノデアリモナガ出来マシタ、爾來續ケテ來タノデアリマス、現行ノ敷設法ト云フモノガ完全ナモノデアルトスレバ、矢張ソレニ附加テ實ハ行ケルコトニナルノデアリマス、ソコガ今申上ダク通リ、當大臣ニ於テ國策トシテ、ドウシテモ決メテ置クノガ宜シ

イ、ソレデ此處ニ是ダケアレバ、先以テ第二期ノ計畫ガ出来ルカラトニ云ウテ、ソレト同時ニ現行敷設法ノ部分ヲスッカリ改正シテ、ヨリ良クシテ今度出シタ譯デアリマス、少シモ舊ニ變々タコトモ何デモナインデアリマス、ソレデ今申シタ線路ノ中ニモ、早ク急イデ出サナケレバナラヌモノモ此中ニ入テ居ル、サウニ云フ次第ニアリマスカラ、御分リニナリマシタカ—御分リニナラナカタラマダ申上ゲマスガ、只今申シタ通りデアリマシテ、一朝一夕ニ作ツタ譯デナインデアリマス

○元田國務大臣　此際一言致シタイ、先刻既往ノ事實ニ付テ鐵道敷設法ノ五線ヲヤンタカヤラナカツカ、私ハ貴族院ニ於テ論議ヲシテトモ其トヲ言ツクノデ

スガ、豫算ノ形式上鐵道敷設法ニ無イノヲ請求シタニ付テ善イ惡イニ付テ、ヒドク貴族院ニ於テ論戰致シタノデアリマス、ソレデ記憶致シタノデアリマスガ、其當時ノ豫算ニ請求シタ中ニ、是ガ敷設法ノ中ニ何本カミ入シテ居ッタカ、私ノ記憶ガ間違ツテ居レバ調ヘレバ直グ分リマスカヌ、一寸ソレダニヲ申上ダテ置キマス

ト云フコトハ、説明ノ順序ハ立チマスガ、併シ殆ド書類ノ中カ  
ルコトアラウト思ヒマス、其八百線ノ中カラ引上ダラレタ  
ト云フコトハ、説明ノ順序ハ立チマスガ、併シ殆ド書類ノ中カ  
ルコトアラウト思ヒマス、其八百線ノ中カラ引上ダラレタ  
う、是トはト引張リ出シテヤラウト云フ譯ハ鐵道ナドハ行キ  
マセヌ、此八百線カラ百五十ヲ出セバ、ソレニ技師ヲ派遣シ  
相當ノ年月ヲ要シマス、是々ラ書類ノ中カラ引出シテヤラ  
ウト云フコトニハ、中々二箇月カ、三箇月デハ行ケルモノデナ  
イ、八百線ノ——八百箇所ノ取調ハ、机ノ上デハ行ケルカモ  
知リマセヌガ、鐵道ノ役人が一々全國ノ八百ノ線路ニ付テ  
御調ニナルニハ、五年、六年、七年、マダ私ハ掛ルト思ヒマス、  
書物ノ中デ此邊ヲ捕ラウ、紙ヲ御出シニナルナラバ、一箇月  
デモ行ケマセウケレドモ、其中カラ御調ベニナシタト云フ——  
引出シタト云フコトハ、餘リニ雜作ナクヤラレタト云フコトニ  
付テ、私ハ少シク唯今ノ御説明デ一層疑惑ヲ起スノデアリ  
マス、尙ホ此鐵道ナルモノガ——一ノ鐵道ガ出來マスレバ、ソ  
ニ伴シテ狀況ガ常ニ變化スルノデアリマス、鐵道ガ出來マス  
レバ、其地方ハ非常ニ發展シテ、前三有利デナカツ處セ、有利  
ナ場合が出来テ來ルノデアリマス、或ハ廣島縣ノ廣村ナラ廣  
村ニ大キナ工場ガ出来レバ、其處ニ早ク鐵道ヲ敷カナケレ  
バナラヌト云フ、經濟上竝三鐵道敷設ニ伴シテ、物資ノ集散

ノ御調査ガアッタモノト私共ハ考ヘテ居タ、然ルニ其間ノ御調査ガ非常ニ雜作ガナイヤウニ思ハレテ、吾々ノ疑惑ヲ解クニ足ラヌコトヲ、實ハ遺憾トスルノアリマス、政友會ノ諸君ハ御分リニナシタト云フ御批評ガアッタガ—アッタカモ知リマセヌガ、今申ス通り鐵道ノ役人ガ全國ニ一度ニ出張シテ、ソレ調べラル、ニハドレダケノ人ヲ要スルドレダケノ金ヲ要スルカ、是ハ机ノ抽斗カラ一寸引出シテ御調ニナシタノデハ斷ジテアルマイト思ヒマス、ソレデドウモ此點ニ付テ、決シテ私共ガ反抗的ニ疑フ起ヌノデハナイ、自然ニ疑カ起キテ止ムヲ得ナイノアリマス

○元田國務大臣 机ノ抽斗カラ一寸引出シテ荒川サンハ前提シテ鐵道ニハ暗イガト御謙遜ノ御言葉ニアリシタガ、机ノ抽斗カラ一寸引出シテ捺エタモノ、ヤウニ御解釋ナルナラバ、甚ダ失禮テスガ甚ダ鐵道ニハ暗イト謂ハネバナラヌ、年來取扱テ居ル所ノ鐵道職員ハ、脈絡カラ總ニノ事ニ關係ヲ以テ調査シテ、繪圖ヲ引イタヤウナ物ヲ、机ノ抽斗カラ引張リ出スヤウナモノハアリマセヌ、或ハ御手許ニ差上げテアル説明書——此冊子ガアリマスガ、之ヲ御覽ニタ後思ヒマスガ、ソレニ添エテアルモノヲ御覽下サシタナラバ、御分リニナルト思ヒマス、總論ニ於キマシテハ、大體ノ大局上ノ系統、其總テノ事ヲ記載シテ居リマス、又一線路毎ニ一々説明ガ致シテアリマス、之ヲ御覽下サレバ机ノ抽斗カラ出シテヤシタモノデナイトニ云フコトガ、御分リニナルト思ヒマス、ドウカ一ツサウ云フ御疑問ハ釋然ト御解キ下サルコトヲ切ニ顯ヒマス、鐵道ニ奉職シテ居ル者ガ、書類ヲ机ノ抽斗カラ引出シテ、此線路ヲ架ケヤウトカ云フヤウナ輕率ナ事ヲ致シテ居ルヤウナ考ヲ蒙リマシテハ、實ニ是等ノ者ノ爲ニ憤慨ニ堪ヘナイノアリマス、日夜刻苦ヲ致シテカラニ、脈絡ノ問題、經濟ノ問題、其他ノ事ヲ自分ニ調べ、上タノカ、經濟上ノ事ハ府縣ノ人ニモ賴ミサウシテ大局ノ脈絡ノ貫通系統ソレカラシテ地方ノ開發ニドンナニ關係ガアルカ、運輸ニドレダケノ關係ガアルカト云フコトヲ、總テ調ベ、上タノカ、即チ今回ノ線路網ニ載シテ居ルモノアリマス、其邊ハドウカ十分御熟讀下サレマシテ、其書イテアル事ニ付テノ疑ガアリマスナラバ、尙ホ十分説明スルコトニ致シマス

○荒川委員 机ノ抽斗カラ御取出シニナシタモノデモナク、又此説明書ガ出來タコトモ御説明デ諒ト致シマス、其次ニ現行法デハ年限ヲ立て、又一期線二期線ト凡ソ大體ノ見目途ニ立て得ラレルヤウナ、其深切ナル箇條ハ全ク削ラレテシマッテアルノアリマス、斯ク現行法ト改正案ト多大ノ

○石丸政府委員　是ハ屢々申上ダ事ニゴザイマスガ、現行法ニ於キマシテモ年限ヲ定メテゴザイマス、最初第一期線トシテ十二箇年ニ於テ、是ダケノ鐵道ヲヤルト云フ法定ヲ致シタコトハアリマシタガ、其通り參リマセヌ、ソレハ參リマセヌ方ガ本當ト思ヒマス、十二箇年間ニ三千哩ノ鐵道ヲ何ボデヤルト云フコトヲ、十二箇年前ニ定メルト云フコトハ、ソレハ到底出來ルモノデアリマセヌ、殊ニ鐵道ノ如ク日進月歩ノ際ニ於テ、一番文明ノ先驅トシテ走ルモノデゴザイマスカラ、始終達ラテ參リマスノデ、新シイ事ヲ真似テ行カナケレバナリマセヌノデアリマス、ソレ故ニ斯ウ云フ國策ヲ立テル上於ニキマシテハ、豫算ト年限ヲ定メテ、此通りニスルト云フコトヲ申シテ置クト云フコトハ到底出來ナイ、ソレ故ニ現行法律ノ如ク、此法律ニ於キマシテモ年限ヲ定メマセズ、又其豫算モ定メマセズ、財政ガ裕ニナリマシテ、鐵道敷設ヲ自由ニ許スヤウニナリマスレバ、年限ガ縮マリマスニ、又仕事モ進ミマス、サウスルト吾々ガ三十年ニヤリ上ダルト思ツタモノモ二十年乃至二十五年ニモ出來ルノデアリマス、而シテ又唯今ノヤウニ、經濟ノ變動ガ始終起ル時代ニ於キマシテハ、之ヲ今日ヨリシテ三十年後ノ事ヲ考ヘテ置キマシテモ、物價ノ變動ニ依テ、必ズソレニハ出テ參リマセヌ、併シ大體ニ之ヲ造ル時ノ精神ニ於テ、之ヲ成タケ早ク造リ上ゲタイト云フ精神ニ於テ、凡ソ此位ナラバ過去ノ經驗ニ依テ是ダケノ金是ダケノ年ニ於テ、凡ソ日本ノ力ニ於テ出來ヤウト云フ鐵道省ノ内輪ノ考ハ、持チ居ルノデアリマス、併シソレヲ、國民ニ示シテ、之ヲ何時迄ニヤッテヤルト云フコトハ、ソレハ申サレナイ、ソレハ現行法ト少シモ變りハナイ、是ハ私ガ最モ此法律ノ良イ所ト思フ、テ經濟ガ宜シケレバドシ、ヤリマス、經濟ガ惡ケレバ延バシテ參リマス、ソレガ若シ定ッテ居リマスト、矢張其時ニ於テ變へナケレバナラヌ、現ニ二十五年ニ制定致シマシタ法律案ニ於キマシテ、第一期線ハ二年ノ間ニ是ダケヲヤリ上ダルト言ヒマシタケレドモ、其通り行カナイ、追加々々デ以テ、後ノ線路ガ先ノ線路ヨリ早ク出來上ルヤウナコトニナリマシテ、實行ガ出來マセヌ、ソレ故ニ成タケ實行ノ出來マスルヤウニ致シタイト思フノガ、此本案ノ趣意デアルノデアリマス、御分リニナリマシタカ、ドウモ喋ベルコトガ手下手デゴザイマスカラ……

出タノデアリマス、完成ニ關スルト云フコトハ、政府ハヤラヌ  
積リデアラレタカ、速成シテ吳レト云フノデナク、完成ノ建議  
デアリマシタガ、政友會ガ此熱海線完成ニ關スル建議案ヲ  
出シタコトハ、當時天下ノ疑惑ヲ招イタ、若シソレガ反對黨カ  
ラ出タノナラバ、ソレハ其意モ察セラレルガ、與黨ヨリ熱海線

完成ニ關スル建議案ヲ出シ、サウシテゾレハ衆議院ヲ通過  
致シタノデアリマス、サウ云フヤウナ問題モアリマシテ、之ニ  
關聯シテマダ私ノ質疑ヲ致シタイ事がアリマス、ソレカラ逢

阪山ノ隧道ハ漸ク落成ニ至テ、今ヤ汽車ハ通ツテ居リマス  
ガ、此經過ヲ詳シクマダ承リタイ問題ガアリマス、其等ノ問  
題ヨリ尚ホ進ンデ澤山アリマスケレドモ、他ニモ段々御質問  
モアリマスカラ、私ハ他ノ御方ノ御質問ヲ謹聽シ居テ、其  
中ニ私ノ質疑ノ點モ御質問ニ出ルダラウト思ヒマスカラ、ソ  
レデ濟メバ私ハ其等ノ質問ハ省キマスガ、其等ノ大體ノ事  
ニ就ケ、尙ホ質問ガアリマスト云フコトヲ御承知置キ下ス

テ、茲ニ最後ニ表ヲ一ツ御願致シテ置キマス、此表ハ適當ノ  
時機ニ御出シ下ス、テ宜シイ、ソレカラ尙ホアト大體ニ就テ  
ノ質問モ留保シマス、又城東線ノ事ハ既ニ解決シタヤウ  
デアリマスガ、之ニ付テ御聽シタイ事モアルノデアリマス、其  
等豫メ私ノ大體ノ質問ニコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ  
今度表ヲ願ヒタイノハ、鐵道ヲ初メテ建設セラレテカラ、一  
哩宛ノ費用ハ年々ニ變テ居ラウト思ヒマス、其等ハ必ず  
明確ニ御調ニナッテ居ラウト思ヒマス、其計算ノ基礎ニナ  
ルモノ、年々ニ變ツテ居ルモノヲ御市シモ願ヒタイ、是ガ第一  
ソレカラ第二ニ未成線ノ經路、未成線が今日著手セラレテ  
居ルモノ、着手セラルベキモノ、其等ノ現状並ニ將來ノ繼續  
分割、ソレカラ其次ニ鐵道ハ利益ヲ得ルモノデアリマス、其  
利益ノ事ニ付テ御尋シタイ思ウテ居リマシタガ、昨日鶴  
澤君ノ御質問ニ對シテ、石丸次官ヨリ一年二八朱九朱ニ  
モナルヤウニ御説明ガアッタヤウニ、一寸承テ居リマス、其算  
定ノ基礎、是ハ勿論概算デアラウト思ヒマスガ、概算デモ其  
計算ノ基礎、サウシテソレニハ所謂重役ノ報酬が加ヘテ居  
ルノデアリマスカ、例へば鐵道大臣以下、其等ノ人ハ全ク計  
算中ニ無イノデアリマスカ、總テ國費が皆ナ加ヘテアルノカ、  
鐵道從業員ヤ並ニ鐵道直接關係ノ費用ノミヲ以テ、計算

打切りヲ致シマス  
○石丸政府委員 唯今ノ御質問ノ中ニハ、直グ御答ノ出  
来ルモノモゴザイマスガ、書面ニ致シテ申上ダマスガ、一、二  
寸御質問ノ意味ガ分リマセヌカラ承テ置キマス、此官設  
始テ以來ノ年度ノ工事ノ單價ノ基礎ヲ示スト云フコト  
ハ是ハ出來マセヌサウ云フ事ハ到底出來ルモノデハゴザ  
マセヌ、工事ノ單價ハ是ハ決算ニ依リマシテ決マル、使ヒマシ  
タ金ヲ決算シテ、始メテ此處ハ一哩幾程ト云フコトガ決マ  
ルノデアリマス、最初カラ豫算ヲ作ツテ此處ハ何程ト云フモ  
ノガ、唯今申上ケル決算ニナッテ居ラナイ、豫算ハ作リマス、  
一線毎ニ豫算ハ作ツテ居リマスガ、實際ノ仕事ヲスルヤウニ  
ナリマシテハ、サウ云フ事ハ出來マセヌレデ是ハ恐ラク御必  
要ト云フノハ、凡ソ一哩ハドノ位デ出來テ居ルカト云フ御  
問デアラウト思フ、ソレナラバ唯今茲ニ出來テ居リマスカラ、  
ソレヲ能ク御質疑ニ合フヤウニシテ、尙ホ説明致シマス、サモ  
ナケレバ逆モ基礎ト云フ事ハ——基礎ト申セバ何カト云ヘ  
バ使タダケノ金ヲ、哩テ割ルト云フコトヨリ外ニ仕方ガナイ、  
サモナケレバ此處ニ繩ヲドレダケ使タ、此處ニ「セメント」ヲ  
ドレダケ使タト云フコトヲスト書上ゲル、是ハ大變ナ事デ、  
サウ云フ譯ニハ行キマセヌ、何カ取違デ是ハ單價ノ御話デア  
ラウト思フ

○荒川委員 單價デアリマス、單價デアリマスガ、ソレヲ一  
年ニ調ペルコトガ出來ナケレバ、或線路ヲ三年ノ繼續ナ  
ラ三年ノ繼續デ、是ハドウトカ、年限ガアッテモ、其線路ニ付  
テ御調ガアッタノデアリマスカ  
○石丸政府委員 ソレハ上ゲテアル筈デスガ、之ヲ差上げ  
マス、ソレカラ先刻根本サンカラノ御注文デ、輸入ノ金高ガ  
分リマシタカラ申シテ置キマス  
○有森委員 鐵道敷設法ハ憲法違反デアルト云フヤウナ  
議論モアリマシタガ、ソレハ皆サンノ御解釋ニ依ルコトデアリ  
マス、免モ角モ一ツノ法案トシテ出テ居ルノデアリマスカラ、  
或ハ嚴格ニ言ダナラバ、法トスベキモノデナクシテ、所謂海  
軍大臣ガ軍艦ヲ拵エル如ク、鐵道大臣ガ鐵道ヲ拵エルノモ、  
一片ノ豫算ヲ以テヤルト云フコト、是ハ或ハ適當カモ知レナ  
イ、或ハ便利デアルカモ知レナイガ、併ナカラ詰リ國民ノ經  
濟ニ大關係ガアル所ノモノデアルカラシテ、之ヲ一ノ法案ト  
ニ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、何ノ爲ニソニナニ思圖々々  
スルカ、此鐵道ト云フモノニ對シテノ敷設法ト云フモノハ、  
何カ鐵道法ニ惡イ所ガアルカドウデアルカト云フコトハ、一  
番ニ考ヘラレル問題デアリト、是ハ又別デゴザイマス、若シ順序ガ  
ラ仕事ノ順序デアルト、是ハ又別デゴザイマス、此法案ヲ昨年御出  
シニナクテ、サウシテ引張リ歩クト云フヤウナ風ノ  
御入用アレバ、未來ノ各線ノ順序ガ出來テ居リマス、濟シ  
ダハ總テ私共ハ其手續ヲ經テ済ンダモノトシテ決算ヲシ  
テゴザイマス、其決算ニ依テヤルヨリ仕方ガゴザイマセヌ、唯  
今ノ終リノ資本ニ對スル益金ノ割合、是ハ基礎モ何モ無イ  
決算シモノヲ、矢張固定資本ヲ割タノモ申上ゲタノデア  
リマスカラ、大臣ノ俸給モ從事員ノ支給モ皆ナ這入テ居リ  
ナッテ居ルコト思ヒマスカラ、其等ノ事ヲ併セテ承リタイ、  
此法律ハ畫イタ餅ヲ研究スルノデハナイ、我々ハ將來ノ財政  
ト關係シテ研究シナケレバナラヌ、豫算デハアリマセヌケレド  
モ、財政上ノ問題ヲ、豫算ヲ離レテ研究スル途ハナイト思ヒ  
マス、故ニ以上ノ事ヲ此際御調ヲ願テ、表デモ分ルヤウニ  
御市シヲ願ヒタク、私ハ後ノ質問ヲ留保致シテ、茲ニ一旦ノ

社デ申シマスレバ、スカリ給料モ何モ引去タ利益ト云フモ  
ノダケヲ資本デ割リマシタモノガ、ソレガ出デ居ルノデ、是ハ  
申上ゲルノハ譯ハナイノデアリマス、私ガ八朱乃至九朱ト申  
上ゲタノガソレデス、是モ差上ゲルコトガ出來マス  
○荒川委員 ソレデ宜シウゴザイマス  
○石丸政府委員 ソレハ明朝持參致シマス  
○荒川委員 ソレト豫算委員ニ配付セラルベキ鐵道ノ參  
考書、ソレモ御配付ヲ願ヒタウゴザイマス  
○石丸政府委員 ソレハ豫算明細書ガ出テ居リマスガ  
議員ノ方々皆サンニ上ゲマシタ譯デ、ソレヲ御覽下サレバ收  
支ノ豫算モ、十一年度ノ豫算モ、スカリ出テ居リマス、ソレ  
ヲ一應御覽下ス、尙ホ御分リノナイ所ハ御説明申上ケ  
マス、ソレ以外ノ御注文ガアレバ差上マスガ、別ニ御注文ノ  
ナイトキハ差上マセヌ  
○荒川委員 マダ頂戴シマセス  
○石丸政府委員 ソレハ上ゲテアル筈デスガ、之ヲ差上げ  
マス、ソレカラ先刻根本サンカラノ御注文デ、輸入ノ金高ガ  
分リマシタカラ申シテ置キマス  
○有森委員 鐵道敷設法ハ憲法違反デアルト云フヤウナ  
議論モアリマシタガ、ソレハ皆サンノ御解釋ニ依ルコトデアリ  
マス、免モ角モ一ツノ法案トシテ出テ居ルノデアリマスカラ、  
或ハ嚴格ニ言ダナラバ、法トスベキモノデナクシテ、所謂海  
軍大臣ガ軍艦ヲ拵エル如ク、鐵道大臣ガ鐵道ヲ拵エルノモ、  
一片ノ豫算ヲ以テヤルト云フコト、是ハ或ハ適當カモ知レナ  
イ、或ハ便利デアルカモ知レナイガ、併ナカラ詰リ國民ノ經  
濟ニ大關係ガアル所ノモノデアルカラシテ、之ヲ一ノ法案ト  
ニ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、何ノ爲ニソニナニ思圖々々  
スルカ、此鐵道ト云フモノニ對シテノ敷設法ト云フモノハ、  
何カ鐵道法ニ惡イ所ガアルカドウデアルカト云フコトハ、一  
番ニ考ヘラレル問題デアリト、是ハ又別デゴザイマス、此法案ヲ昨年御出  
シニナクテ、サウシテ引張リ歩クト云フヤウナ風ノ  
御入用アレバ、未來ノ各線ノ順序ガ出來テ居リマス、濟シ  
ダハ總テ私共ハ其手續ヲ經テ済ンダモノトシテ決算ヲシ  
テゴザイマス、其決算ニ依テヤルヨリ仕方ガゴザイマセヌ、唯  
今ノ終リノ資本ニ對スル益金ノ割合、是ハ基礎モ何モ無イ  
決算シモノヲ、矢張固定資本ヲ割タノモ申上ゲタノデア  
リマスカラ、大臣ノ俸給モ從事員ノ支給モ皆ナ這入テ居リ  
ナッテ居ルコト思ヒマスカラ、其等ノ事ヲ併セテ承リタイ、  
此法律ハ畫イタ餅ヲ研究スルノデハナイ、我々ハ將來ノ財政  
ト關係シテ研究シナケレバナラヌ、豫算デハアリマセヌケレド  
モ、財政上ノ問題ヲ、豫算ヲ離レテ研究スル途ハナイト思ヒ  
マス、故ニ以上ノ事ヲ此際御調ヲ願テ、表デモ分ルヤウニ  
御市シヲ願ヒタクシテ、貴族院ニ於テモ、欣ンデ早く之ヲ贊

成スルト云フヤウナコトニシタインデアリマスカラ、私ハ此法  
案ニ對シテ、此委員會ニ於テ十分ニ質疑ヲ爲シ、皆ナガ議論  
シテ、サウシテ良イ所ノモノヲ政府ニ於テ御容レニナルモノト  
思フ、現政府ノ案ハ、必ズシモ絕對的ノモノナシ、委員會  
ニ付シテ十分ニ委員ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ訂正スベキ所  
ノモノハ訂正スル御考デアラウト私ハ考ヘル、此點ニ付テハ  
勿論ノ御話トハ思テ居リマスクレドモ、一應大臣ニ明ニ御  
話シテ貴ヒタイ、ソレカラ次ニ私ハ此敷設法案ヲ見ルト云フ  
ト、政府ノ辯明書ニモアル如ク、日本ノ鐵道ト云フモノハ沟  
ニ貧弱デアル、デ見マスルト云フト、人口一万人ニ付テ、亞  
米利加ニ於テハ二十四哩モ持テ居ル、ソレカラ英、佛ノ如  
キニ至テモ五哩、六哩、八哩ト云フモノヲ持テ居ルノデア  
ルガ、日本ハタゞタ僅ニ一哩、是ハ實ニ貧弱ナルモノデアル、サ  
ウシテ今度ノ鐵道法案ニ依テ增加ナサル其數ヲ見ルト、六  
千三百四十九哩ト云フコトニナシテ居リマスルガ、是デモ是  
ガ出來タ曉ニ於テハ、人口ニ於テドウデアルカ、人口一万人  
ニ付テ僅ニ三哩五分ト云フコトデアッテ、私ハ非常ニ少イト  
思フ、御承知ノ通り此平和會議ニ於テ先達中ニ議論ヲ見  
ルニ、政府ヲ攻擊スル所ノ先生方ノ御話ハ、日本ガモウ少シ  
軍艦ヲ持ツベキ筈ノ所ガ、政府ガ腰が弱イガ爲ニ持テナイ、  
其比較ハ何デアルカト云フ、英ガ十ナデアッテ、米國ガ十ナデアッ  
テ、日本ガ六ト云フヤウナ關係デアル、此關係ヲ軍艦ノ關係  
カラシテ、此鐵道ノ關係ヲ以テ見タ時分ニハ、實ニ我國ハ貧  
弱ナモノデアルカト云フ、英ガ十ナデアッテ、米國ガ十ナデアッ  
テ見タラドウデアルカ、日本ト云フモノハ實ニ詰ラスト云フヤ  
シナイカト云フコトヲ惧レルノデアッテ、モウ少シ御研究ニナ  
タナラバ、政府モ定メシ是デハ御満足デナカラウト思ヒマス、  
其點ハモウ少シ攻究スベキモノデアルト思フ、ソレカラ今平  
和會議ノ事ヲ申シマシタガ、平和會議デハ免毛角モ今度軍  
艦ヲ造ラヌト云フ風ニナシテ居リマスガ、ソレデ十年ノ間ト云  
フ話デアルガ、私ハ日本政府ガ此ノ十年ト云フコトニ議  
ニシタコトハドウモ可笑シク思フ、何故永久ニシナイカ、永  
久ニ軍艦ヲ造ラヌト云フコトデアレバ、是ハ好イ事デアル、人  
民ノ爲ニハ何レノ國ノ國民ノ幸福ヲモ増加スル方法デアル、  
コトハ、實ニ恩ノ骨頂デアルト思フノデアリマス、ト云フノハ、  
何デアルカト申シタナラバ、今度ノ歐羅邑ノ人ガ十年ト云フ  
コトヲ持出シタノハ何デアルカト云フト、戰後デ實ニ苦シイ、  
外國人ト云フモノハ、非常ニ苦シイ狀態ニ在ル、何トナレ

バ亞米利加入ノ如キニ至ラテハ兵ヲ出シタ、兵ヲ出シタ  
ケレドモ、其兵ガ非常ニ金ヲ喰フ所ノモノデアッテ、歐羅邑ヘ  
兵ヲ出シタ爲ニ、瞬ク間ニ二百五十億ト云フ國債ヲ起サ  
シテ、サウシテ良イ所ノモノヲ政府ニ於テ御容レニナルモノト  
思フ、現政府ノ案ハ、必ズシモ絕對的ノモノナシ、委員會  
ニ付シテ十分ニ委員ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ訂正スベキ所  
ノモノハ訂正スル御考デアラウト私ハ考ヘル、此點ニ付テハ  
勿論ノ御話トハ思テ居リマスクレドモ、一應大臣ニ明ニ御  
話シテ貴ヒタイ、ソレカラ次ニ私ハ此敷設法案ヲ見ルト云フ  
ト、政府ノ辯明書ニモアル如ク、日本ノ鐵道ト云フモノハ沟  
ニ貧弱デアル、デ見マスルト云フト、人口一万人ニ付テ、亞  
米利加ニ於テハ二十四哩モ持テ居ル、ソレカラ英、佛ノ如  
キニ至テモ五哩、六哩、八哩ト云フモノヲ持テ居ルノデア  
ルガ、日本ハタゞタ僅ニ一哩、是ハ實ニ貧弱ナルモノデアル、サ  
ウシテ今度ノ鐵道法案ニ依テ增加ナサル其數ヲ見ルト、六  
千三百四十九哩ト云フコトニナシテ居リマスルガ、是デモ是  
ガ出來タ曉ニ於テハ、人口ニ於テドウデアルカ、人口一万人  
ニ付テ僅ニ三哩五分ト云フコトデアッテ、私ハ非常ニ少イト  
思フ、御承知ノ通り此平和會議ニ於テ先達中ニ議論ヲ見  
ルニ、政府ヲ攻擊スル所ノ先生方ノ御話ハ、日本ガモウ少シ  
軍艦ヲ持ツベキ筈ノ所ガ、政府ガ腰が弱イガ爲ニ持テナイ、  
其比較ハ何デアルカト云フ、英ガ十ナデアッテ、米國ガ十ナデアッ  
テ見タラドウデアルカ、日本ト云フモノハ實ニ詰ラスト云フヤ  
シナイカト云フコトヲ惧レルノデアッテ、モウ少シ御研究ニナ  
タナラバ、政府モ定メシ是デハ御満足デナカラウト思ヒマス、  
其點ハモウ少シ攻究スベキモノデアルト思フ、ソレカラ今平  
和會議ノ事ヲ申シマシタガ、平和會議デハ免毛角モ今度軍  
艦ヲ造ラヌト云フ風ニナシテ居リマスガ、ソレデ十年ノ間ト云  
フ話デアルガ、私ハ日本政府ガ此ノ十年ト云フコトニ議  
ニシタコトハドウモ可笑シク思フ、何故永久ニシナイカ、永  
久ニ軍艦ヲ造ラヌト云フコトデアレバ、是ハ好イ事デアル、人  
民ノ爲ニハ何レノ國ノ國民ノ幸福ヲモ増加スル方法デアル、  
コトハ、實ニ恩ノ骨頂デアルト思フノデアリマス、ト云フノハ、  
何デアルカト申シタナラバ、今度ノ歐羅邑ノ人ガ十年ト云フ  
コトヲ持出シタノハ何デアルカト云フト、戰後デ實ニ苦シイ、  
外國人ト云フモノハ、非常ニ苦シイ狀態ニ在ル、何トナレ

バ亞米利加入ノ如キニ至ラテハ兵ヲ出シタ、兵ヲ出シタ  
ケレドモ、其兵ガ非常ニ金ヲ喰フ所ノモノデアッテ、歐羅邑ヘ  
兵ヲ出シタ爲ニ、瞬ク間ニ二百五十億ト云フ國債ヲ起サ  
シテ、サウシテ良イ所ノモノヲ政府ニ於テ御容レニナルモノト  
思フ、現政府ノ案ハ、必ズシモ絕對的ノモノナシ、委員會  
ニ付シテ十分ニ委員ノ意見ヲ聽イテ、サウシテ訂正スベキ所  
ノモノハ訂正スル御考デアラウト私ハ考ヘル、此點ニ付テハ  
勿論ノ御話トハ思テ居リマスクレドモ、一應大臣ニ明ニ御  
話シテ貴ヒタイ、ソレカラ次ニ私ハ此敷設法案ヲ見ルト云フ  
ト、政府ノ辯明書ニモアル如ク、日本ノ鐵道ト云フモノハ沟  
ニ貧弱デアル、デ見マスルト云フト、人口一万人ニ付テ、亞  
米利加ニ於テハ二十四哩モ持テ居ル、ソレカラ英、佛ノ如  
キニ至テモ五哩、六哩、八哩ト云フモノヲ持テ居ルノデア  
ルガ、日本ハタゞタ僅ニ一哩、是ハ實ニ貧弱ナルモノデアル、サ  
ウシテ今度ノ鐵道法案ニ依テ增加ナサル其數ヲ見ルト、六  
千三百四十九哩ト云フコトニナシテ居リマスルガ、是デモ是  
ガ出來タ曉ニ於テハ、人口ニ於テドウデアルカ、人口一万人  
ニ付テ僅ニ三哩五分ト云フコトデアッテ、私ハ非常ニ少イト  
思フ、御承知ノ通り此平和會議ニ於テ先達中ニ議論ヲ見  
ルニ、政府ヲ攻擊スル所ノ先生方ノ御話ハ、日本ガモウ少シ  
軍艦ヲ持ツベキ筈ノ所ガ、政府ガ腰が弱イガ爲ニ持テナイ、  
其比較ハ何デアルカト云フ、英ガ十ナデアッテ、米國ガ十ナデアッ  
テ見タラドウデアルカ、日本ト云フモノハ實ニ詰ラスト云フヤ  
シナイカト云フコトヲ惧レルノデアッテ、モウ少シ御研究ニナ  
タナラバ、政府モ定メシ是デハ御満足デナカラウト思ヒマス、  
其點ハモウ少シ攻究スベキモノデアルト思フ、ソレカラ今平  
和會議ノ事ヲ申シマシタガ、平和會議デハ免毛角モ今度軍  
艦ヲ造ラヌト云フ風ニナシテ居リマスガ、ソレデ十年ノ間ト云  
フ話デアルガ、私ハ日本政府ガ此ノ十年ト云フコトニ議  
ニシタコトハドウモ可笑シク思フ、何故永久ニシナイカ、永  
久ニ軍艦ヲ造ラヌト云フコトデアレバ、是ハ好イ事デアル、人  
民ノ爲ニハ何レノ國ノ國民ノ幸福ヲモ増加スル方法デアル、  
コトハ、實ニ恩ノ骨頂デアルト思フノデアリマス、ト云フノハ、  
何デアルカト申シタナラバ、今度ノ歐羅邑ノ人ガ十年ト云フ  
コトヲ持出シタノハ何デアルカト云フト、戰後デ實ニ苦シイ、  
外國人ト云フモノハ、非常ニ苦シイ狀態ニ在ル、何トナレ

ニ此鐵道敷設法ニ依リテ、何レ出來タ暁ノコトヲ考へテ見  
レバ、是ハドノ位ノ金ガ要ニ御持ニナルダラウカ政府ハ大  
抵考ヲ付ケテ居ラナケレバナラヌ、其曉ニ於テハ、政府ハドレ  
ダケ收入ヲ得ルカ、即チ鐵道カラシテドノ位ノ收入ヲ得ルダ  
ラウカ、私ノ考ニ於テハ實ニ立派ナ鐵道ヲ持上ダテ、サウシテ  
シテモ發達シナケレバナラスト思フ、テ其邊ノ抱負ハドウデア  
ルカ、ドレダケノ計算ガアルカト云フコトヲ一ツ承リタイ  
○元田國務大臣 有森君ノ御尋ニ對シテ簡單ニ御答ヲ致  
シマス、第一ハ本法案ノ中ニハ訂正スベキモノガアレバ、訂正ス  
ルカト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、政府ハ本法案ヲ以テ  
何ノ線路、或ハ規定ノ上ニ於テ相當ナリト認メテ、提案致  
シテ居ルノアリマス、唯今ニ於テ訂正スベキ廉ヲ見出シテ  
居リマセヌ、若シ衆議院ニ於キマシテ、訂正スベキモノアリト  
云フコトデアリマスルナラバ、ドウ云フ事ヲ訂正スルノアリ  
カ、ソレガ分ラナケレバ御返答出來ヌ、原案ヨリモ宜シイ事  
ガアルナラバ、ソレハ宜シキニ從フノガ當然デアル、併ナガラ  
唯今ノ所デハ、政府ノ提案ガ一番適當ナリト思フソレカラ  
次ニハ今少シ大規模ニシナイカ、斯ウ云フ御尋ニアリマス、  
政府ニ於キマシテハ、今回提案ヲ致シタノヲ以チマシテ、今  
日ノ場合ニ於テハ、調査結了致シタ點カラ適當ナル案デア  
ルト心得テ居ルノアリマス、併ナガラ將來ニ於テ、國勢ノ  
變動、國防ノ變動等ニ伴ヒマシテ、自然追加スル線路ガ出  
來テ來ルノアリマセウ、是ハ後日ノ問題デアリマシテ、サウ  
云フモノガ出來ヌト云フコトハ言ヘヌノアリマス、今日ノ  
提出ニ於キマシテ、之ヲ完全ナリト認メテ出シテ居ルノアリ  
リマス、ソレカラ其次ニハ何年ニ出來ルカト云フヤウナ御尋  
ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ法文ニ定メテゴザイマセヌ、此  
事ニ付キマシテハ、次官ヨリ先刻モ度ニ申上ダマシタガ、定  
メテ置イタ所ガ事實ノ上ニ於テ出來ナイト云フコトガアリ、  
又其年度以内ニモ出來ルト云フコトガアル、寧口定メズシ  
テ成ベク財政ノ許ス限リニ於キマシテ、歩ヲ進メタ方ガ宜シ  
イト考ヘテ、唯今ハ定メテ居リマセヌ、強テ鐵道省ガドウ云  
フ見込ガアルカト云フコトヲ御尋ニナレバ、昨日モ次官ヨリ  
御答ヲシテアル通リデアリマシテ、一年ニ幾ラ經費ヲ提供ス  
レバ、何年間ニ出來ルト云フ、斯ウ云フ目安ハ立タヌデハアリ  
マセヌ、又一哩ニ付テ何程デアルカト云フコトハ、既往ノ成  
績カラ見マスレバ、確カ十五六万トナツテ居リマスガ、物價騰  
貴デアリマスカラ、「十萬ハ必ず要ルデアラウト思フ、假ニ二

ナナルモノニ使フコトニ付テハ、研究ヲ要スルコト、思ヒマス、了ニ近ヅイテ居ルヤウデアリマスガ、幸ニ相當ナル結果ヲ得マシテ、御批准ニモナルト云フ曉ニナリマシタナラバ、廢艦ニナッタ物ハ、ソレドモ最モ適當出来ルコトデアリマセウ、廢艦ニナッタ物ハ、ソレドモ最モ適當鐵道當局トシテ、鐵道ニ用井ラル、物ハ、引受ケテ使フコトヲ希望スルノデアリマスケレドモ、最モ國家ノ福利ニナル方面ニ廢艦ヲ使用スルコトガ適當ト存ジマス、又廢艦必ズモ其材料ハ鐵道省ノミナ使ヘル譯デモアリマセヌ、其次ノ御尋ハ燃料デアリマス、石炭ハ限リアルモノデアルカラ、電化計畫ヲ立テテ居ルカドウカト云フコトデアル、是ハ昨年五千万圓ノ經費ヲ要求シテ、ソレドモ著手シテ居リマス、尤モ是ハ全部ノ電化デアリマセヌ、東京附近デアリマスガ、漸次動力ヲ電化シテ差支ノナイ、又必要ナル場所ニ擴張スル積リデアリマス、ソレカラ國營ト爲スノ意ハナイカト云フ御尋、是ハ鐵道敷設法ノ會議ニ於テ私ガ御答マルヨリモ、他ノ當局者ニ讓ツタ方ガ宣シノデアリマスガ、私ノ茲ニ考慮シテ居リマスノハ、今日マデ國營ニスルトハ決マッテ居リマセヌ、他日國營然ルベシトナレバサウナリマスガ、今日ハマダ廟議デサウ決シテ居リマセヌ、ソレカラ鐵道省ガ率先シテヤツテ居ルコト、信濃川ノ水力利用シテ五千万圓ノ經費ノ協賛ヲ得テ、工事ニ著手中デアルノモ、鐵道省ガ率先シテ、自己ノ經營ニ著手シテ居ル筋二當ルノデアリマス、次ニ此敷設法中ノ線路ガ悉ク出來上ツタナラバ、收入ハドンナ見込カト云フ御尋ネデスガ、既往成績ニ依リマスレバ、次官ノ申上ゲタヤウナ結果ヲ得テ居ルノデアリマスカラ、必ズ多大ノ收入ガアル見込デアリマス、ソコニ建設事業ヲ完成スレバ、收入ハ改良ナリ、保線ナリ、斯ウ云フ方面向テ必死ニ力ヲ盡サナケレバナラヌ、其上ニ剩アラバ、租稅モ減ジ、軍艦モ造ルガ宜イ、鐵道省ガ總テノ支出ヲ引受ケテヤル時節ガ來レバ、此上モナインデスカ、サウ云フ事ハ今日ハ容易ニ期シ難イノデアリマス、建設ガ濟メバ收入ヲ以テ改良ヲ十分ニ致シ、運輸交通ノ完成ヲ圖リ、尙ホ其上ニ剩アレバ、他ニ用井テ或ハ公債ノ償却支辨ニ充テル必要ガアルト存ジマス、此處ノ使途ニ付キマシテハ、今日ハ御答ハ出來兼ネマス、是ダケ

ヲ求メラレタイノデアリマス、尤モ唯今ハ豫算會議中デアリマスカラ、大藏省ノ政府ノ政府委員モ御多忙ト存ジマスカ時間ノ縫合ノ付クトキデ宜シウガザイマス、實ハ昨年本案提出ノ際ニモ、私ヨリ大藏大臣ニ向シテ數回出席ヲ求メマシタガ、一度モ御出席ガナカッタ、私ハ已ムヲ得ズンバ大臣ニ非ザルモ、他ノ政府委員デ結構デアルト申シマシタガ、是亦一度モ出席ガナカッタノ遺憾ニ思シテ居リマス、故ニ本年ハ大藏大臣及法制局ノ政府委員ノ御出席ヲ是非願フノデアリマス、私が懷ク所ノ財政上ノ疑義ガ釋然トシテ解ケマシタナラバ、私ハ進シテ本案ニ賛成スルモ可ナリト思ヒマスガ、鐵道大臣ノ御答デハ、私が財政上考ヘテ居ル點ニ付テ氷解ガ立チマセヌ、是ハ重要ナル問題デアリマスカラ、是非共大藏大臣ト法制局ノ政府委員ノ出席ヲ願ヒマス

アル、相當旅客ノ便ヲ圖ルコトガ出来ルト云フ條件ガ伴ハナケレバナラヌト思フ、工事ノ上ニ十年計畫デシタコトデス、變更ヲ來サナケレバナラヌモノデアル、十年モ二十年モ先ノ其地方ニ於ケル所ノ、產業上ノ變化ガ如何ニナルカト云フコトヲ、徹底的ニ御調査ノ無イ所ヘ持テ行フテ、神ナラスケレバナラヌコトガ起ルダウト思ヒマス、起ランイト云フコトデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、私ハ之ニ對シテ非常ニ懸念スル者デアルガ故ニ、此計畫ノハッキリシ調査ノ有ルカ、無イカヲ伺ンテ、而シテドレダケノ根據ヲ以テ、十年二十年先ニ此處ニ是ダケノ鐵道ガ必要デアルト云フ基礎ヲ御定メニナツカ、統計ハ後デ宜シウゴザイマスガ、若シソレニ對シテ根據トナル統計カアツタナラバ、第一ニソレヲ承リタイ

○石丸政府委員 第一ノ御質問ニ對シマシタハ、豫テ参考書ヲ御手許ニ上ゲテ置キマシタガ、ソレヲ御覽下サレバ明瞭ニ分ル筈デアリマス、ソレカラ第一ノ御質疑ニ對シマシテモ、矢張參考書ニ物産ガ書イテアリマス、ソレヲ御覽下サレバ、此線ニ對シテハドウ云フ物產ガ出ルカ詳シク書テアリマス

○植原委員 敷量ガ些トモ分リマセヌ、出ル物ハ書イテアッテモ、數量ガ分リマセヌ

○石丸政府委員 ソレデハ申上ゲマセウ、此線路ノ百七十三線、之ニ付テハ私等ハ三十年掛ケテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、村々ニ付テ旅客ノ數、ソレカラ貨物ノ集散ヲ調べテアルノデアリマス、此經濟表ト云フモノハ何カラ出タカト云ヘバ、サウ云フヤウニ細カク調ベタモノカト云ヘバ、サウ云ナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出アリマス、是ハ御覽ニナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出デ下サレバ御分リニナルト思ヒマス、倉庫ニ一杯ゴザイマス、ソレニ依テ割出シタモノガ、此處ニ出テ居ル經濟表デアリマス、ソレカラ唯今仰セノ、今ノ將來ノ事ヲ神ナライ者ニ分ルカト云フコトデアリマスガ、御尤デアリマス、私等ノ調査シタモノニハ、將來ノ事ハ一切人レテ居ナイ、將來ヲ入レルト大變違フ、北海道ノ如キハ將來ヲ入レア致シマシタナラバ、鐵道ハ掛ケルコトハ出來ナイ、レドモ鐵道ト云フモノハ、決シテマニスラ生ジナイ、「サムシングラ生ズル、ソレヲ是等ノ線路調査ナルモノハ、今ノ吾々ノ頭ノ力ニ依テ、其能力ニ依テ、斯ノ如キモノハ將來ノ事ガ分テ居ラナイガ、イケナイヂヤナカト云フ御質問デアリマスガ、先程カラ説明ノ中ニ申シマシタル如ク、二十五年ニ制定サレマシテ以來出

來マシタ線路ハ、國有ニシテ六千四百哩、是ハ今ノ推測ニ依テ出來テ居ル、是ハ論ヨリ證據アリテ事實ニ現シテ居ル、ト云フコトハ申上ゲナインデアリマス、是ハ十年前ノ九年ニ将来モ亦出來ルタケノ材料ニ依テ、ソレヲ参考トシテ推定ケレバナラヌコトガ起ルダウト思ヒマス、起ランイト云フコトデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、私ハ之ニ對シテ非常ニ懸念スル者デアルガ故ニ、此計畫ノハッキリシ調査ノ有ルカ、無イカヲ伺ンテ、而シテドレダケノ根據ヲ以テ、十年二十年先ニ此處ニ是ダケノ鐵道ガ必要デアルト云フ基礎ヲ御定メニナツカ、統計ハ後デ宜シウゴザイマスガ、若シソレニ對シテ根據トナル統計カアツタナラバ、第一ニソレヲ承リタイ

○石丸政府委員 第一ノ御質問ニ對シマシタハ、豫テ参考書ヲ御手許ニ上ゲテ置キマシタガ、ソレヲ御覽下サレバ明瞭ニ分ル筈デアリマス、ソレカラ第一ノ御質疑ニ對シマシテモ、矢張參考書ニ物產ガ書イテアリマス、ソレヲ御覽下サレバ、此線ニ對シテハドウ云フ物產ガ出ルカ詳シク書テアリマス

○植原委員 敷量ガ些トモ分リマセヌ、出ル物ハ書イテアッテモ、數量ガ分リマセヌ

○石丸政府委員 ソレデハ申上ゲマセウ、此線路ノ百七十三線、之ニ付テハ私等ハ三十年掛ケテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、村々ニ付テ旅客ノ數、ソレカラ貨物ノ集散ヲ調べテアルノデアリマス、此經濟表ト云フモノハ何カラ出タカト云ヘバ、サウ云フヤウニ細カク調ベタモノカト云ヘバ、サウ云ナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出アリマス、是ハ御覽ニナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出デ下サレバ御分リニナルト思ヒマス、倉庫ニ一杯ゴザイマス、ソレニ依テ割出シタモノガ、此處ニ出テ居ル經濟表デアリマス、ソレカラ唯今仰セノ、今ノ將來ノ事ヲ神ナライ者ニ分ルカト云フコトデアリマスガ、御尤デアリマス、私等ノ調査シタモノニハ、將來ノ事ハ一切人レテ居ナイ、將來ヲ入レルト大變違フ、北海道ノ如キハ將來ヲ入レア致シマシタナラバ、鐵道ハ掛ケルコトハ出來ナイ、レドモ鐵道ト云フモノハ、決シテマニスラ生ジナイ、「サムシングラ生ズル、ソレヲ是等ノ線路調査ナルモノハ、今ノ吾々ノ頭ノ力ニ依テ、其能力ニ依テ、斯ノ如キモノハ將來ノ事ガ分テ居ラナイガ、イケナイヂヤナカト云フ御質問デアリマスガ、先程カラ説明ノ中ニ申シマシタル如ク、二十五年ニ制定サレマシテ以來出

來マシタ線路ハ、國有ニシテ六千四百哩、是ハ今ノ推測ニ依テ出來テ居ル、是ハ論ヨリ證據アリテ事實ニ現シテ居ル、ト云フコトハ申上ゲナインデアリマス、是ハ十年前ノ九年ニ将来モ亦出來ルタケノ材料ニ依テ、ソレヲ参考トシテ推定ケレバナラヌコトガ起ルダウト思ヒマス、起ランイト云フコトデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、私ハ之ニ對シテ非常ニ懸念スル者デアルガ故ニ、此計畫ノハッキリシ調査ノ有ルカ、無イカヲ伺ンテ、而シテドレダケノ根據ヲ以テ、十年二十年先ニ此處ニ是ダケノ鐵道ガ必要デアルト云フ基礎ヲ御定メニナツカ、統計ハ後デ宜シウゴザイマスガ、若シソレニ對シテ根據トナル統計カアツタナラバ、第一ニソレヲ承リタイ

○石丸政府委員 第一ノ御質問ニ對シマシタハ、豫テ参考書ヲ御手許ニ上ゲテ置キマシタガ、ソレヲ御覽下サレバ明瞭ニ分ル筈デアリマス、ソレカラ第一ノ御質疑ニ對シマシテモ、矢張參考書ニ物產ガ書イテアリマス、ソレヲ御覽下サレバ、此線ニ對シテハドウ云フ物產ガ出ルカ詳シク書テアリマス

○植原委員 敷量ガ些トモ分リマセヌ、出ル物ハ書イテアッテモ、數量ガ分リマセヌ

○石丸政府委員 ソレデハ申上ゲマセウ、此線路ノ百七十三線、之ニ付テハ私等ハ三十年掛ケテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、村々ニ付テ旅客ノ數、ソレカラ貨物ノ集散ヲ調べテアルノデアリマス、此經濟表ト云フモノハ何カラ出タカト云ヘバ、サウ云フヤウニ細カク調ベタモノカト云ヘバ、サウ云ナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出アリマス、是ハ御覽ニナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出デ下サレバ御分リニナルト思ヒマス、倉庫ニ一杯ゴザイマス、ソレニ依テ割出シタモノガ、此處ニ出テ居ル經濟表デアリマス、ソレカラ唯今仰セノ、今ノ將來ノ事ヲ神ナライ者ニ分ルカト云フコトデアリマスガ、御尤デアリマス、私等ノ調査シタモノニハ、將來ノ事ハ一切人レテ居ナイ、將來ヲ入レルト大變違フ、北海道ノ如キハ將來ヲ入レア致シマシタナラバ、鐵道ハ掛ケルコトハ出來ナイ、レドモ鐵道ト云フモノハ、決シテマニスラ生ジナイ、「サムシングラ生ズル、ソレヲ是等ノ線路調査ナルモノハ、今ノ吾々ノ頭ノ力ニ依テ、其能力ニ依テ、斯ノ如キモノハ將來ノ事ガ分テ居ラナイガ、イケナイヂヤナカト云フ御質問デアリマスガ、先程カラ説明ノ中ニ申シマシタル如ク、二十五年ニ制定サレマシテ以來出

來マシタ線路ハ、國有ニシテ六千四百哩、是ハ今ノ推測ニ依テ出來テ居ル、是ハ論ヨリ證據アリテ事實ニ現シテ居ル、ト云フコトハ申上ゲナインデアリマス、是ハ十年前ノ九年ニ将来モ亦出來ルタケノ材料ニ依テ、ソレヲ参考トシテ推定ケレバナラヌコトガ起ルダウト思ヒマス、起ランイト云フコトデアレバ宜シウゴザイマスケレドモ、私ハ之ニ對シテ非常ニ懸念スル者デアルガ故ニ、此計畫ノハッキリシ調査ノ有ルカ、無イカヲ伺ンテ、而シテドレダケノ根據ヲ以テ、十年二十年先ニ此處ニ是ダケノ鐵道ガ必要デアルト云フ基礎ヲ御定メニナツカ、統計ハ後デ宜シウゴザイマスガ、若シソレニ對シテ根據トナル統計カアツタナラバ、第一ニソレヲ承リタイ

○石丸政府委員 第一ノ御質問ニ對シマシタハ、豫テ参考書ヲ御手許ニ上ゲテ置キマシタガ、ソレヲ御覽下サレバ明瞭ニ分ル筈デアリマス、ソレカラ第一ノ御質疑ニ對シマシテモ、矢張參考書ニ物產ガ書イテアリマス、ソレヲ御覽下サレバ、此線ニ對シテハドウ云フ物產ガ出ルカ詳シク書テアリマス

○植原委員 敷量ガ些トモ分リマセヌ、出ル物ハ書イテアッテモ、數量ガ分リマセヌ

○石丸政府委員 ソレデハ申上ゲマセウ、此線路ノ百七十三線、之ニ付テハ私等ハ三十年掛ケテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、村々ニ付テ旅客ノ數、ソレカラ貨物ノ集散ヲ調べテアルノデアリマス、此經濟表ト云フモノハ何カラ出タカト云ヘバ、サウ云フヤウニ細カク調ベタモノカト云ヘバ、サウ云ナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出アリマス、是ハ御覽ニナリタクト仰セニナレバ、鐵道省ニ御出デ下サレバ御分リニナルト思ヒマス、倉庫ニ一杯ゴザイマス、ソレニ依テ割出シタモノガ、此處ニ出テ居ル經濟表デアリマス、ソレカラ唯今仰セノ、今ノ將來ノ事ヲ神ナライ者ニ分ルカト云フコトデアリマスガ、御尤デアリマス、私等ノ調査シタモノニハ、將來ノ事ハ一切人レテ居ナイ、將來ヲ入レルト大變違フ、北海道ノ如キハ將來ヲ入レア致シマシタナラバ、鐵道ハ掛ケルコトハ出來ナイ、レドモ鐵道ト云フモノハ、決シテマニスラ生ジナイ、「サムシングラ生ズル、ソレヲ是等ノ線路調査ナルモノハ、今ノ吾々ノ頭ノ力ニ依テ、其能力ニ依テ、斯ノ如キモノハ將來ノ事ガ分テ居ラナイガ、イケナイヂヤナカト云フ御質問デアリマスガ、先程カラ説明ノ中ニ申シマシタル如ク、二十五年ニ制定サレマシテ以來出

○植原委員　ソコデ御尋シタイ事ハ、斯様ナ事デアリマス  
ガ、其明治二十五年カラ計畫シテ作り上ダタ、三千哩ノ線  
路ノ或點ニ於テ變更シタケレドモ、或點ニ於テハ變更シナイ  
是ハ明瞭ニナリマシタ、ソコデ是等ノ線路ノ中ニ於ケル多ク  
ノ都會地ニ於ケル所ノ人口ヤ、物資ノ集散、離合、總テ是  
等ハ鐵道敷設前ノ狀態ト、鐵道ノ敷設サレタ後ノ狀態ト、  
著シク變化ヲ來シタ處ハアリマスマイカ、大體ニ於テ鐵道ヲ  
架ケテ、前二大キナ町デアリ、鐵道ヲ架ケテ停車場ヲ造ダテモ、  
停車場ダケ特ニ發達セシムルヤウナ場處ガアルノデアリマス  
ガ、サウ云フ處ハ多イノデアルカ、私ハ斯様ニ思ヒマス、其三  
千哩ノ中ニハ、鐵道ノ爲ニ甚シク盛ニナッタ市街モアラウト  
思ヒマス又鐵道ノ通り方ニ依ヅテ、元ヨリ惡クナッタ町モア  
ラウト思ヒマス、是等ノ其三十年ノ歴史ヲ見レバ、隨分其  
地方ノ物資ノ狀態セ變ハリ、人口ノ狀態モ變ルコトガ、鐵  
道ノ出來タ後ト出來タ前ト、非常ニ變シテ居ルト私ハ思ヒマ  
スガ、其等ニ付テ正確ナル、私共ノ満足スル御説明ガアルナ  
ラバ承リタイト思ヒマス

○石丸政府委員　是ハ仰セマデモアリマセヌ、鐵道ノ敷設  
前ノ狀態上、鐵道ノ停車場が出來マシタ其場處ガ、鐵道ノ  
爲ニ其土地ガ衰ヘル處モアルト云フコトハ、是ハモウ調べル  
マデモゴザイマセヌ、事實ニ於テアルノデゴザイマス、又鐵道  
ヲ敷設シテ而シテ後ニ、其停車場ノ周圍ガ人家が出來、居  
住地ガ出來、工場ガ出來ルト云フコトハ、是ハドナタモ否定  
スルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレカラ内地ニ於テ舊キ町  
ニ於テ衰微シタ處ハ、東海道ヲ一瞥スレバ直グ分リマス、昔ノ  
五十三次ノ中ニ此鐵道ノ出來マシタ爲ニ、昔ノ宿ノ繁華ガ  
變化シマシテ、他ノ宿ニ移タト云フコトハ、是ハモウ東海道  
邊リデモ、私ガ一寸知シテ居ルダケデモ、日坂、石部、ソレカラ  
三雲ト云フモノハ、吾々ガ鐵道ヲ造ル時ニハ非常ニ繁華デ  
アツガ、矢張其便宜ヲ受ケテ居ル、是ハ即チ交通機關ノ御  
蔭デ間接ニ德ヲ受ケテ居ルソレカラ尙ホ正確ニ調ベタカト  
云フコトハ、是ハ調ベル必要ヲ認メナイノデアリマス、東京ノ

如キ、大阪ノ如キ、神戸ノ如キ、トテモ調べヤウト云ッテモ、是ハ分リマセヌ、唯ダ乗客ノ乗降並ニ貨物ノ集散ダケシカ分ノ他ノ教育機關デモ何デモ、皆ナ鐵道ノ御蔭ヲ蒙テヤッテ居ルト、斯ウ思シテ居リマス、是ハモウ無理ニ調ベテ正確ニ出スマデモナイデマリマセウガ、此大キナ都會ニ對シテ鐵道ノ影響如何ト云フ問題ノ、若シ調ベロト仰セラルレバ、是ハ面白イ問題ニアリマシテ、調ベタモノガアルカモ知レマセヌ、私ノ方デ鐵道ノ勢力範圍ヲ定メマシテ、色々勢力調ヲシテ居リマスカラ、或ハ御参考ニナルモノガアルカモ知レマセヌ、是ハトテモ委員會ノアル間ニハ間ニ合ヒマセヌケレドモ、特ニアナタノ爲ニ他日差上ゲテモ差支ゴザイマセヌ

○植原委員 洵ニ御深切ナル御説明デ能ク分リマシタ、ソコデ私ノ御尋ハ御承認ニナシタ、サウ致シマスト、次ニ起シテ來ル私ノ疑問ハ斯ウ云フ事アリマス、既成線ニ起點ヲ起シ、既成線ニ終點ヲ起ス所ノ此鐵道敷設法ノ計畫ノ線路ニ於テハ、或ハ此計畫ヲ其儘實行出來ルモノアラウト思ヒマス、併ナガラ鐵道ノ通過ニ依シテ、地方狀態ニ於テ著シク變更ヲ來ス、人口ニ於テモ、物資ニ於テモ、又都會地ノ榮枯盛衰ニ付テモ、著シキ變化ヲ生ズルト云フモノデアルナラバ、今日マダ定ラナイ所ノ未成線ニ起點ヲ起シ、未成線ニ終點ヲ起ス所ノ鐵道ノ如キ計畫ハ、此未成線ガ完成サレタ後ニ五年十年ヲ經過シタラ甚シキ變化ヲ生ジテ、其線路ノ根本ヲ變ヘナケレバ、ナラナイヤウナ事が起ルト云フコトハ、明瞭ニ想像出來ル事ダト私ハ信ジマス、此點ニ付テハ政府當局ニ於テモ、決シテ御否定ナサルコトハ出來マイト思ヒ、既ニ御話ノ如ク鐵道ノ通過ニ依テ、其地方ノ狀態ガ著シク相違スル、此事ヲ事實マデ舉ゲテ御説明ニナシテ居ル以上ハ、是カラ五十年十年經テ造り上グル所ノ鐵道ガ、五六箇年通過シテ行ク間ニ於テハ、其鐵道ニ於ケル所ノ沿道一帶ノ地ニ一大變化ヲ起スノミナラズ、今日相當ノ都會地ナリト思ウテ居ル所ガ、却テ萎縮シ、新シク其鐵道ヲ利用シテ停車場附近ニ造ダ所ノ產業地、或ハ工場地ガ非常ナ發達ヲナシテ、之ガ爲ニ二十年、三十年後ニ於テハ、新シク線路ノ計畫ヲ變更シナケレバ、ナラナイヤウナ事が、當然起テ來ルモノト私ハ推測致シマス、之ニ付テ御否定ハ出來マイト思フ、御否定出來ルカドウカ、之ヲ一ツ伺ヒマス

○石丸政府委員 未成線ヲ以テ起リ、未成線ヲ以テ終ル線ガアルカ、ソレハ將來遠キ時ニ於テ出來ルノデアルカラ、變ツテ來ルデハナイカト云フ 御話アリマスカ、無論變ツテ参リ

馬ス、唯今此調ニ依テ此線路ハ唯今ノ線路ト連絡スルカ  
爲ニ、距離ハ僅カ三哩テアリテモ、之ヲ繫イタ爲ニ此線ハ幹  
線ノ一部ヲ成シテ、非常十効ヲ爲スト云フヤウナモノガアル  
又此線ハ中間ニ何モ無イガ、此港マテ出セバ、海陸連絡ア  
爲ニ非常ナ國益ニナルト云フコトガゴザイマス、ソレカラ又  
今日此村ニ於テハ斯ノ如キ村デアルケレドモ、將來此處ハ  
此山カラ材木ガ出ル、サウスレバ此處ハ材木ノ置場ニナル  
又ハ此處ニ製材所ダ出來ル、或ハ此處ハ水力ノ工合ガ良  
イカラ、水力電氣ヲ起シテ工場ガ出來ルナドト、色トナ其機  
ニ目的ノアル場所ニ於テ、此線路ヲ造テ居ルノアル、ソレデ  
若シ其目的ガ假ニ外レクト致シマシテモ、此線ヲ法定シテ、將  
來政府ハ之ヲ國有デヤツテヤルゾト云フ事デアルノデゴザリマ  
スルガ故ニ、若シソレガ其思フ事が假リニ外レタト致シマシ  
テモ、政府ハ矢張ソレニ鐵道ヲ架ケテヤルト云フコトハ、私ハ  
致シテ宜イト思フ、ソレハ即チ既往ノ事實ニ徴スレバ分ルノ  
デス、既往ノ事實ニ於テ一万二千哩ノモノガ此處ニチャヤン  
ト日本ノ内地ニアル、其アルモノガドノ線路トシテ苦情ノ出  
夕線路ハ一ツモ無イ、誰一人トシテ鐵道ガ出來タカラ困ル、  
是ハ一ツ御免ヲ蒙リタイト苦情ヲ言ハレタ線路ハ一ツモ無  
イ、皆ナ歡迎シテ其線路ヲ迎ヘテ居ル、現ニ此六千四百哩  
出來テ居リマスル線路ガ、ドウカト云ヘバ即チ法定シタ線路  
デアル、此線路ニ對シテ一ツモ私ハ苦情ハナイト思フ、線路  
ヲ設ケル前ニハ色々シテ競争ガアッテ、俺ノ處ニ敷イテ吳レ俺  
通リ、起終兩點ハ中ニ變ヘル譯ニハ行キマヌケレドモ、新  
シク之ニ貨客ノ集散が變シテ參リマスレバ、新シク著ケナケ  
困ルト云フ方ハ無イト思フ、ソレ故ニ今回ノ法定シタル線  
路ヲ他日變ヘルト云フコトニ付テ、ソレハ先刻カラ申上ダタ  
レバナラス處ガ必ズ出來テ來ル、又此中ニハ掲ダテアリマセ  
ヌガ、八百本ノ鐵道線路ノ調査ガシテアルノデス、尙ホ此上  
ニモマダ政府ハ調查ヲ進メテ行キツ、アルノデアリマスカラ、  
時勢ニ從シテ變シテ來ルモノモアリ、又新ニ起シテ來ルモノモア  
ル、是ハ必ず増シテ參リマスル次第アリマス、ソレデ今ノ御  
質問ニ對シマシテハ、私ハ決シテサウ云フ御懸念ハ要リマセ  
ヌト思ヒマス、是ハ私ハ卑見デゴザイマスルガ、既往ノ事が變シ  
テ居リマセヌカラ、ドウカソレヲ以テ私ノ卑見ヲ確ダト忠召  
シテ戴キタイ

今ノ未成線が出来タガ爲ニ、非常ニ發達シタ所ガ出来テ、其處ニ鐵道ヲ敷カナケレバ、ナライヤウナ場合モ澤山アルコト、想像スル、此御言葉ハ洵ニ御尤ダラウト思フ、果シテ然ラバ、今日ノ財政ノ基礎ヲ以テ、サウシテ是ダケノモノヲ實行出来ルト云フ、十年十五年ナリノ計畫ヲ立ツテ、一ツ法律案ヲ作ラウトスルナラバ、御尤至極デアリマス、政府委員ノ御説明ノ如クニ、此敷設法ナルモノヲダウシテ立テルカト云フ財政ノ基礎モ無イ、唯タ二十年カ三十年ニ皆ナ喜ブダラウカラ、是ダケノ事ヲ決メテ置イテヤラウ、其外ニモマダ澤山出來ルカモ知レナイガ、ソレハ其時ノ臨機應變ダ、リウ云フモノナラバ、此敷設法ヲ何故御定メニナル必要ガアルカ、未成線が出来タ場合ニ、此敷設法ニ定メテアル所ノ線路以外ニ、更ニ緊急ヲ要スル線路ノ起ルト云コトヲ前提トナス、テ居ル以上ハ、斯様ナ一部ノモノヲ定メテ、十年、十五年、二十年ノ間、將來は憲法上ノ問題ハ別トシテ、議院ノ將來ノ——議院ノ生命ヲ制限スルノミナラズ、國民ノ將來ノ活動ヲ拘束スルガ如キコトヲ計畫スルト云フコトハ、國家産業上ニ於テ、極メテ危險千萬ナル事デアルト思ヒマスガ、之ニ對シテ明確ナル御答辯シタイ思ヒテス

○石丸政府委員 御質問ガ段々ムヅカシクナリマスガ、ソレハ一言以テ之ヲ申シマスレハ、既往ノ三十年ニ於ケル豫定線ノ有様ト同ジ事ダト思フノデゴザイマスガ、是ハ國策トシテ居リマスル以上ハ、國民ガ是ニ依テ總テノ生産工業ニ付テ、自分ノ考ヲ是ニ依テ爲ス、其一ツノ燈明臺ニナルト思ヒマス、是ガ一番ノ私ハ大切ナ問題ダト思ヒマス、ソレカラ成程御話ノ如ク三十年ト云フコトハ、是ハ私等ノ頭ノ中デ考ヘル一番長イ時ニ取タノデアリマス、若シ假ニ今ノ鐵道ノ財政ニ於テ、之ヲ特別會計ノ本質ノ働カ爲スナラバ、ソレハドンナ事デモ出來ルト思ヒマスガ、ソレデハ政府ノ事業トシマシテハ、外ニ色々金ノ要ル事モアリ、鐵道其ノガ若シ假ニナタストレバ、ソレハモウ少シ速ク私ハ出來ルト思フノデアリマス、一億近クノ利益ヲ持テ居ルノデゴザイマスカラ、ソレハドンナ事デモ出來ルト思ヒマスガ、ソレデハ政府ノ事業トシマシテハ、外ニ色々金ノ要ル事モアリ、鐵道其ノ公債ノ募集ニ付テ、又御考カ變ツテ參リマスレバ、ソレハ別ノ事デアリマスガ、其三十年ノ中ニ少シモ變ラズニ此儘行フト云フコトハ、到底出來ナイ事デアリマス、ソレハ必ず變ツテ參ル、其變ル事が惡ケレバ、ナシタイト思ヒマス、最モ大藏省ノ方デ差支ナイヤウニ思ヒマス、サウ云フノ法定シテ置クト云フコトガ、質疑ノ眼目ニナッテ居ルヤウデゴザイマスガ、何カ之ヲ

決メテ置キマセヌト、今迄ノ遣方ノ如ク、五線路乃至十線路ヲ行政官ノ考ニ依テ、其ノ都度々々ニ出スト云フコトハ、其都度々々ニ頭ガ達ヒマスルガ故ニ、其出來上リマシタ線路網ナルモノガ、甚ダ不完全ニナルノデアリマス、之ヲ頭カラ一定シテ置キタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、如何デコザイマスカ、此位デ御分リニナリマセヌカ

○植原委員 マダアリマスガ、今日ハ是デ止メテ、明日又ヤリマセウ

○富安委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會ヲ致シマス  
午後三時五十一分散會

大正十一年一月三十日印刷

大正十一年一月三十一日發行

審議會事務局

印刷者 印刷局